

ECLIPSE

HDDナビゲーション内蔵
HDD/DVD/MS VGA-AVシステム

AVN8804HD

取扱説明書

オーディオ編

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いになるために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

はじめに

本書の見方	8
特長	10
ご使用になる前に	12
ディスクについて	13
“メモリースティック” について ..	16
液晶パネルについて	17
TV について	17

基本操作

ソースの切り替え方	18
ソースを切り替える	18
操作画面の表示	18
各ソースの操作画面	19
音の調整	20
主音量の調整	20
操作音の設定	20
音質の調整	21
音質調整画面の表示	21
SOUND 調整画面を表示する	21
SETTING 画面の表示	21
その他の音質調整画面を表示する ..	21
DSP（音場）の設定	24
DSP（音場）モードを設定する	24
DSP（音場）の調整、記憶	24
DSP（音場）レベルをリセットする ..	24
EQ（イコライザ）の調整	25
音質を設定する	25
EQ カーブの調整、記憶	26
EQ カーブをリセットする	26

POS（ポジショニングセクター） の調整	27
音量バランスの調整	28
MP3/WMA 音質補正の設定 （ハーモナイザー）	29
LOUDNESS の設定	29
サブウーファの設定	30
位相を切り替える （Phase Control）	30
サブウーファの出力を調整する	30
サラウンドシステムの調整	31
Dolby Pro Logic を設定する	31
COMPRESSION を調整する	32
Center Blend を調整する	32
Center Level を調整する	33
Rear Level を調整する	33
スピーカーの調整	34
スピーカーサイズを設定する	34
タイムアライメントの調整	36
出力レベルの調整	36
背景画の設定	37
Pic-CLIP の設定	37
Pic-CLIP を切り替える	37
画像データを書き換える	38
使用できる画像データについて	39
画像データを保存する	40
画像データを消去する	42
画面の調整・設定	43
画質調整画面の表示	43
ライト点灯時に昼画表示にするには ..	44
画面を消すときは	44
画質の調整	45
優先画面の設定	46
タッチスイッチの表示切り替え	47

画面スイッチの 表示切り替えについて	47
機能スイッチの表示について	47
画面モード切り替え	48

ラジオの操作

ラジオの使い方 49

ラジオを聞く	49
聞きたい放送局を選ぶ	49
手動で選ぶ	49
自動で選ぶ	49
プリセットスイッチから選ぶ	49
放送局を記憶する	50
マニュアル（手動）で記憶する	50
AUTO.P（自動）で記憶する	50
AUTO.Pで記憶した 放送局を変更する	50
エリアスイッチについて	51
局名スイッチについて	51
ラジオを止める	51
Click Radio について	52
文字情報を表示する	52
文字情報を保存する	53
文字情報をメモリースティックへ 書き出す	54
文字情報を消去する	54

CD プレーヤーの操作

CD プレーヤーの使い方 55

CD を聞く	55
聞きたい曲を選ぶ	56
早送り・早戻しする	56
聞きたい曲を探す	56
同じ曲を繰り返して聞く	56

曲の順番をランダムに聞く	56
CD を止める	56

MP3/WMA プレーヤーの操作

MP3/WMA プレーヤーの 使い方 57

MP3/WMA を聞く	57
聞きたいフォルダを選ぶ	58
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	58
フォルダ・ファイル切り替え スイッチから選ぶ	58
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	58
早送り・早戻しする	58
1 つ上の階層を表示する	58
現在の階層を表示する	59
聞きたい音楽ファイルを探す	59
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	59
順番をランダムに聞く	59
音楽ファイル情報などを表示する	59
MP3/WMA を止める	59
MP3/WMA について	60
再生可能な MP3 ファイルの 規格について	60
再生可能な WMA ファイルの 規格について	61
ID3 タグ / WMA タグについて	61
使用できるメディアについて	62
使用できるディスクの フォーマットについて	62
ファイル名について	63
CD-R、CD-RW について	63
MP3/WMA の再生について	63
MP3/WMA の 演奏時間表示について	64
MP3/WMA ファイル、フォルダの リスト表示順番	64

MP3/WMA ファイルの 作り方、楽しみ方	65
インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから 入手する場合	65
音楽 CD から MP3/WMA ファイルに 変換する場合	65
CD-R/RW に書き込む場合	65

“メモリースティック” プレーヤーの操作

“メモリースティック” プレーヤー の使い方 66

“メモリースティック” を聞く	66
聞きたい曲を選ぶ	66
早送り・早戻しする	67
聞きたい曲を探す	67
同じ曲を繰り返して聞く	67
曲の順番をランダムに聞く	67
“メモリースティック” を止める ...	67

CDチェンジャーの操作

CD チェンジャーの使い方 68

CD を聞く	68
聞きたい曲を選ぶ	68
早送り・早戻しする	68
聞きたい CD を選ぶ	68
チェンジャー内の全 CD から聞きたい 曲や CD を探す	69
聞きたい曲を探す	69
聞きたい CD を探す	69
聞きたい曲や同じ CD を 繰り返し聞く	69
いま聞いている曲を 繰り返し再生する	69
いま聞いている CD を 繰り返し再生する	69

曲の順番をランダムに聞く	69
いま聞いている CD の中から ランダムに聞く	69
チェンジャー内全 CD の中から ランダムに聞く	69
CD を止める	69

MDチェンジャーの操作

MD チェンジャーの使い方 70

MD を聞く	70
聞きたい曲を選ぶ	70
早送り・早戻しする	70
聞きたい MD を選ぶ	70
チェンジャー内の全 MD から聞きたい 曲や MD を探す	71
聞きたい曲を探す	71
聞きたい MD を探す	71
聞きたい曲や同じ MD を 繰り返し聞く	71
いま聞いている曲を 繰り返し再生する	71
いま聞いている MD を 繰り返し再生する	71
曲の順番をランダムに聞く	71
いま聞いている MD の中から ランダムに聞く	71
チェンジャー内全 MD の中から ランダムに聞く	71
MD のタイトルや 曲名などを表示する	71
MD を止める	71

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKE を お使いになる前に 72

MUSIC JUKE の概要	72
----------------------	----

MUSIC JUKE の構成について	72
プレイモード・	
プレイリストについて	73
データベースについて	74
Gracenote CDDb について	74
メディアクリックデータベース	
(MCDB) について	75
オートタイトリング機能について	76
デジタル録音	76
アナログ録音	76
データベース情報の	
表示について	77
データベースの更新について	78
CDDb を更新する	78
メディアクリックの	
データベースを更新する	79
データベースの受信について	80
タイトル情報の受信について	80
タイトル情報の保存について	80
タイトル情報を受信する	81
タイトル情報を表示する	81
タイトルインジケータの	
表示切り替えを設定する	82
タイトル情報を再保存する	83
ハードディスクの容量確認	84
操作の流れについて	85

MUSIC JUKE への録音 86

MUSIC JUKE への録音について	86
録音できるソースと	
録音方式について	86
録音についての注意	86
デジタル録音	
(4 倍速録音) について	87
アナログ録音	
(等倍速録音) について	87
録音方式の設定	88
デジタル録音モードを設定する	88
オートトラックマークを設定する	89

録音ビットレートを設定する	89
MUSIC JUKE への録音	90
CD を再生しながら	
自動で録音する	91
CD の中からお好みのトラック (曲)	
を録音する	92
CD プレーヤー以外の	
ソースから録音する	93

MUSIC JUKE の使い方 94

MUSIC JUKE を聞く	94
聞きたいトラック (曲) を選ぶ	94
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	95
プレイモード・プレイリスト切り替え	
スイッチから選ぶ	96
“エージェント” から選ぶ	97
早送り・早戻しする	98
聞きたいトラック (曲) を探す	98
プレイリストの中から	
聞きたい曲を探す	98
プレイモードの中から聞きたい	
プレイリストを探す	98
聞きたいトラック (曲) を	
繰り返し聞く	98
いま聞いている曲を	
繰り返し再生する	98
いま聞いているプレイリストを	
繰り返し再生する	98
トラック (曲) の順番を	
ランダムに聞く	98
いま聞いているプレイリストの中から	
ランダムに再生する	98
MUSIC JUKE に保存されている	
全曲の中からランダムに	
再生する	99
MUSIC JUKE を止める	99
プレイリストの編集	100
プレイリストの作成	100
プレイリストの名称入力	102

カナ、英字、数・記号の入力	102
リスト名称の編集	103
タイトル情報の再取得	105
プレイリストの並び替え	107
お好みに合わせて並び替える	107
作成した順番に並び替える	107
プレイリストの消去	108

トラックの編集 109

トラックの追加	109
トラックの検索	110
トラック情報の編集	110
トラック編集画面の呼び出し	110
トラックタイトルを変更する	111
アーティストを変更する	112
ジャンルを変更する	112
トラックの消去	113

TVの操作

TV の使い方 115

TV を見る	116
見たいチャンネルを選ぶ	116
手動で選ぶ	116
自動で選ぶ	116
プリセットスイッチから選ぶ	116
チャンネルを記憶する	116
マニュアル（手動）で記憶する	116
AUTO.P（自動）で記憶する	117
AUTO.P で記憶したチャンネルを 変更する	117
マルチチャンネルビューを 表示する	118
TV 設定画面の切り替え	119
エリアスイッチについて	119
局名スイッチについて	120

音声多重放送を切り替える	120
TV モードを終わる	120

DVD/VTRの操作

DVD プレーヤーを お使いになる前に 121

DVD ビデオの特長	121
マルチ音声機能について	121
マルチアングル機能について	121
字幕表示機能について	122
ディスクについて	122
再生できるディスクの種類について	122
再生可能なディスクの地域番号 （リージョンコード） について	122
再生できるサラウンドシステム について	123
ディスクに表示されているマーク について	123
ディスクの構成について	123
操作の流れについて	124

DVD プレーヤーの使い方 125

DVD を見る	125
映像を操作する	125
映像を再生する	125
早送り・早戻しする	126
パネルスイッチから 早送り・早戻しする	126
タッチスイッチから 早送り・早戻しする	126
映像を一時止める	126
映像を止める	126
ディスクメニューを操作する	127
DVD を止める	127
見たい映像を探す	127
チャプターから探す	127
タイトル番号から探す	128

メニュー番号から探す	128
タッチスイッチの表示を 切り替える	129
タッチスイッチを消す	129
タッチスイッチの表示場所を 切り替える	129
画面表示・音声の切り替え	130
アングルを切り替える	130
字幕言語を切り替える	131
音声言語を切り替える	131
DVD プレーヤーの設定	132
音声言語を設定する	133
コードを入力する	133
字幕言語を設定する	133
コードを入力する	133
メニュー言語を設定する	134
コードを入力する	134
マルチアングル（アングル選択マーク） の表示を設定する	134
視聴制限を設定する	135
映像出力を切り替える	136
言語コード一覧	137
VTR の使い方	138
VTR を見る	138
VTR 設定画面の切り替え	138
VTR モードを終わる	138

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウ機能	139
マルチウィンドウについて	139
マルチウィンドウ画面の表示	139
マルチウィンドウ画面の操作	141
TV・DVD 画面の操作	141
目的地情報画面の操作	142
オーディオ画面の操作	142
ソースを切り替える	142

ご参考に

知っておいていただきたいこと ...	143
こんなメッセージが 表示されたときは	143
故障とお考えになる前に	147
用語説明	150
gracenote CDDb の ご利用について ...	154
目的別索引	155
索引	164

目的別索引は各機能の説明ページを簡単に検索できます。操作でお困りのときは、目的別索引から該当の操作を検索してお使いください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

基本操作

音質の調整

DSP (音場) の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP (音場) モードを設定する

1 DSP にタッチします。

2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教堂	OFF	DSP OFF

DSP (音場) の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP (音場) をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、▲ ▼ にタッチします。

● 調整レベルは十個、一側各5段階です。

2 調整した音場モードを「ピーツ」と音がするまでタッチします。

DSP (音場) レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP (音場) レベルをメーカー調整値 (初期値) にもどすことができます。

1 OFF を「ピーツ」と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。

● 次のとき、DSPは操作できません。

- ・アナログで録音しているとき
- ・Dolby Digital (5.1ch)、またはDTS (5.1ch) 方式でディスクを再生するとき
- ・Dolby Pro Logicが「AUTO」、または「ON」に設定されているとき (「Dolby Pro Logicを設定する」31ページ参照)

● DSP (音場) レベルを調整中に、別のDSP (音場) モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

音質の調整

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって、お好みの音質で聞けるようにイコライザで調整できます。また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に設定することができます。

音質を設定する

あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 EQ にタッチします。

2 Front、Center、または Rear にタッチします。

3 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ

セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

次ページに続く

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

特長

音楽の録音や画像の保存を可能にしたMUSIC JUKE (ミュージックジューク) (72ページ)

大容量の音楽専用ハードディスクを搭載し、各ソースから流れる音楽や音声を、簡単に録音できます。また、音楽CDは、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種類別に検索できるほか、編集機能でプライベートアルバムを作成することもできます。



理想の音響空間を創り出す音質調整機能 (21ページ)

車が持つさまざまな音響空間や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。



多様なサラウンド方式に対応する音質調整機能 (21ページ)

Dolby Digital(5.1ch) やDTS (5.1ch)、Dolby Pro Logicに対応しており、車室内で映画館やコンサートホールのような迫力ある臨場感を楽しむことができます。



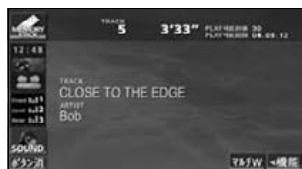
アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー (57ページ)

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、MP3よりも高い圧縮率のWMAデータを再生することもできます。



パソコンなどからダウンロードした音楽を再生する"メモリスティック"プレーヤー (66ページ)

高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術、ATRAC3に対応しています。パソコンや携帯電話などから"MG メモリスティック"にダウンロードした音楽データを再生することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドが 楽しめるDVD プレーヤー (121ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD-Videoを再生します。(DVDは、映像1本分に相当する高画質映像と、CDを上回る高音質なデジタルサウンドを記録することができるメディアです。)



複数の番組を同時に表示する TV マルチチャンネルビュー機能 (118ページ)

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。



ナビゲーションと各オーディオ画面などを同時表示するマルチウィンドウ機能 (139ページ)

ナビゲーションの画面とオーディオ、またはテレビの操作画面を左右分割して同時に表示します。また、オーディオ機能以外に目的地情報や走行情報、時計を表示することができます。



お好みの画像を壁紙として 表示する壁紙機能 (37ページ)

気分に合わせて4種類の中から壁紙を切り替えて表示することができるほか、CD-R、CD-RW、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、壁紙として表示することもできます。



システムアップ

● CD チェンジャー (68ページ)

複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。また、チェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。

● ビデオ接続コード

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

ご使用になる前に



走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



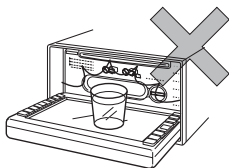
交通事故の原因となります。

走行中運転者はテレビの操作を極力しないでください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

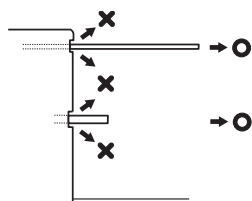


交通事故の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。

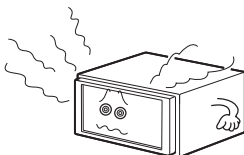


故障の原因となります。



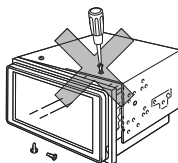
故障したままの使用は絶対しないでください。

煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



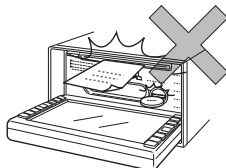
こんなときはすぐにオーディオの電源をOFFにしてください。

分解、改造はしないでください。



本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

差し込み口にはディスクおよび“メモリスティック”以外のものを絶対に入れないでください。

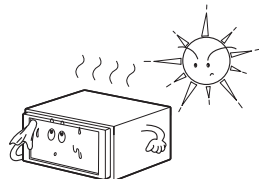


故障の原因となります。

本機からディスクまたは“メモリスティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらかき出さないでください。

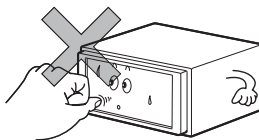
ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリスティック”を破損するおそれがあります。

車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げたからお使いください。



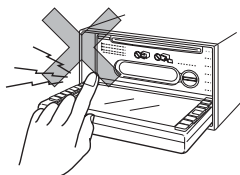
故障の原因となります。

モニターに強い力を加えたりしないでください。



故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。

ディスクについて



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。DVD-R/RW（DVD-Recordable/ReWritable）、DVD+R/RW（DVD+Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込まれたディスクのみ再生できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込まれたディスクは再生できません。



- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。
- DVD-R/RW（DVD-Recordable/ReWritable）、DVD+R/RW（DVD+Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD-R/RW、DVD+R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT 機能は市販のCD-TEXT 対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記憶部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。

ご使用になる前に



- スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- Dolby Digital(5.1ch) 音声やDTS(5.1ch) 音声にも対応※1しており下記のマークのついたディスクも使用できます。

※1 Dolby Digital(5.1ch)音声やDTS(5.1ch)音声で再生するためには、別売のセンタースピーカー、サブウーファなどが必要です。(詳しくは、販売店にお問い合わせください。)

※2 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。

※3 DTS及びDTS Digital Surroundは、Digital Theater System,Inc.の商標です。



※2

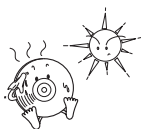


※3

- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。
- Video-CDは再生できません。

ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



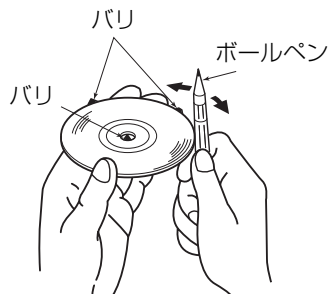
- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをすることがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。





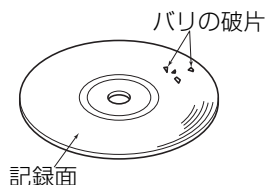
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、“バリ”の破片がディスクの信号面に付着し、音とびをする場合があります。



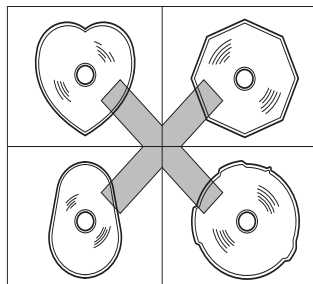
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



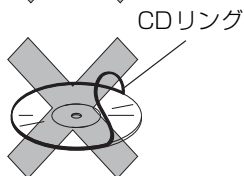
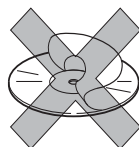
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリーについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）は使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリー（CD リング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



ご使用になる前に

“メモリースティック” について



ワンポイント

- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック” を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “MG メモリースティック” の再生後および HDD ヘデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック” を取り出してください。
- “メモリースティック” 再生中、または HDD にデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご容赦ください。

使用できる“メモリースティック” について

- 128MB までの容量の“メモリースティック” に対応しています。
- “メモリースティック Duo ” を使用する場合は、“メモリースティック Duo アダプター” をご使用ください。
- “メモリースティック PRO ” には対応していません。
- 下記のマークの付いた “MG メモリースティック” は使用できます。

MAGICGATE

- 下記のマークの付いた “メモリースティック” は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。



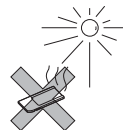
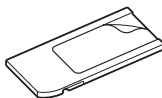
“MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”) **MAGICGATE**

“Memory Stick” (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。

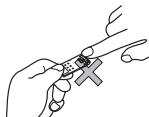
- “MG メモリースティック” のフォーマット (初期化) は、専用機器で行ってください。専用機器以外でフォーマットを行った場合、本機で再生できません。

“メモリースティック” の取扱いについて

- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ (ラベル) が貼ってある “メモリースティック” は使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック” が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



液晶パネルについて

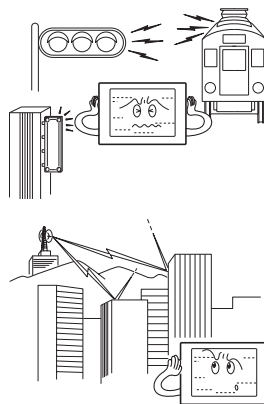


- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載TVの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。



ソースの切り替え方

ソースを切り替える

■パネルスイッチから切り替える

1 **SOURCE MENU** を押します。

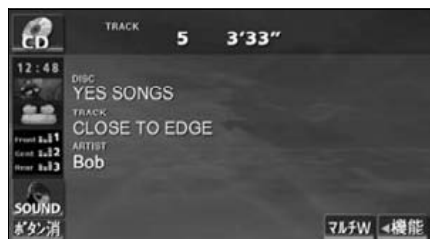
2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたソースがスクリーン表示(オンスクリーン表示)されます。



●オンスクリーン画面

操作画面の表示

1 **AUDIO CONT** を押します。



■タッチスイッチから切り替える

1 オーディオ操作画面、またはDVD/TV/VTR設定画面で、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。



2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチすると、タッチしたソースの操作画面が表示されます。

● ◀ にタッチすると、もとの画面にもどります。



各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

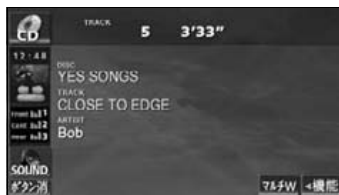
●AM操作画面



●FM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●MP3/WMAプレーヤー操作画面



●“メモリースティック”プレーヤー操作画面



●MUSIC JUKE 操作画面



●TV 操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●CDチェンジャー操作画面（別売）



●MDチェンジャー操作画面（別売）



「優先画面の設定」(46 ページ) で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20 秒以上(TV・DVD 操作画面では約6 秒以上) 操作をしなかったときは、操作画面は自動解除されオンスクリーン表示に切り替わり、その後もとの画面にもどります。また、画面の切り替えを継続表示に設定すると、操作画面は自動解除されずに継続して表示されます。

音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- 調整レベルは0～80です。

+(上側)：音量UP (大きくなる)

-(下側)：音量DOWN (小さくなる)



操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

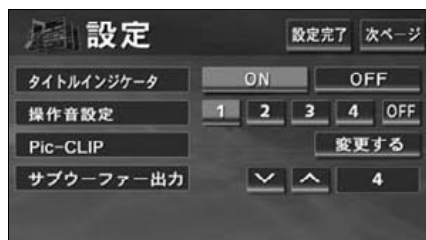
1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除(消音)になります。



4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞かせください。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- DVD プレーヤーを再生中に音量を調整すると、DVD プレーヤー用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVD プレーヤー再生中に調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。DVD の前に使用していたソースで調整した音量レベルになります。

音質の調整

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

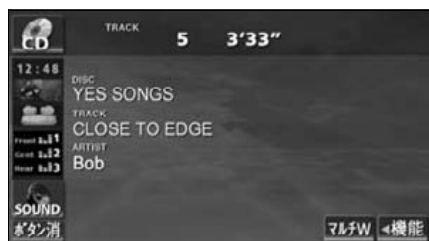
本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質調整画面の表示

SOUND 調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面、またはTV・VTR・DVD設定画面で **SOUND** にタッチします。

- SOUND 調整画面が表示されます。
- SOUND 調整画面から23 ページの操作を行うことができます。



SETTING 画面の表示

- 2 SOUND 調整画面で **SET** にタッチします。

- SETTING 画面が表示されます。
- SETTING 画面から23 ページの操作を行うことができます。



その他の音質調整画面を表示する

- 1 **INFO** を押します。

- インフォメーション (情報) 画面が表示されます。

- 2 **設定** にタッチします。

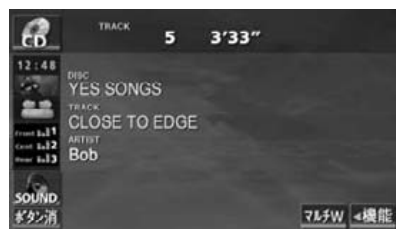
- 各設定画面が表示されます。
- 設定画面から23 ページの操作を行うことができます。



TV、VTR操作画面では **設定** に、DVD操作画面では、**NEXT**、**設定** の順にタッチすると **SOUND** が表示されます。

音質の調整

- SOUND 調整画面からの操作の流れ



SOUND



SET



SPレベル



SP設定



- インフォメーション（情報）画面からの操作の流れ



設定



■簡単にできる音場・音質調整

項目・タッチスイッチ	機 能	ページ
DSP	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	24
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	25
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	27,28
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	29

■MP3、WMA圧縮された音楽に効果のある音質補正レベル調整

項目	機 能	ページ
ハーモナイザー	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	29

■サブウーファー接続時の出力・位相調整

項目	機 能	ページ
Phase Control	サブウーファの位相を切り替えることができます。	30
サブウーファ出力	サブウーファの出力を調整することができます。	30

■サラウンドシステムの調整

項目	機 能	ページ
Dolby Pro Logic	Dolby Pro Logic機能のON、OFFを切り替えることができます。	31
COMPRESSION	ダイナミックレンジ（最大音と最小音の音量差）を調整することができます。	32
Center Blend	Dolby Digital/DTS/LPCM対応のディスクを再生する場合でDolby Pro LogicがON時に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。	32
Center Level	センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどの出力レベルを調整することができます。	33
Rear Level	リヤスピーカーから聞こえる効果音などの出力レベルを調整することができます。	33

■タイムアライメント・スピーカーサイズ調整

タッチスイッチ	機 能	ページ
SP設定	スピーカーサイズの設定やタイムアライメントを設定します。	34,36
SPレベル	スピーカーの出力レベルを調整します。	36

音質の調整

DSP（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、あらかじめ設定されているさまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

DSP（音場）モードを設定する

1

DSP にタッチします。

2

タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	DSP OFF

DSP（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのDSP（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1

お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

- 調整レベルは＋側、－側各5段階です。

2

調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



DSP（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているDSP（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1

OFF を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 音場レベルが初期値にリセットされます。



ワンポイント

- 次のとき、DSPは操作できません。

- ・アナログで録音しているとき
- ・Dolby Digital (5.1ch)、またはDTS (5.1ch) 方式でディスクを再生するとき
- ・Dolby Pro Logicが“AUTO”、または“ON”に設定されているとき（「**Dolby Pro Logicを設定する**」31 ページ参照）

- DSP（音場）レベルを調整中に、別のDSP（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

EQ (イコライザ) の調整

お聞きになる音楽ジャンルやソースによって、お好みの音質で聞けるようにイコライザで調整できます。また、フロント、リヤ、センターと各スピーカーを別々に設定することができます。

音質を設定する

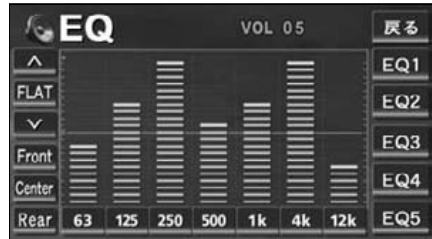
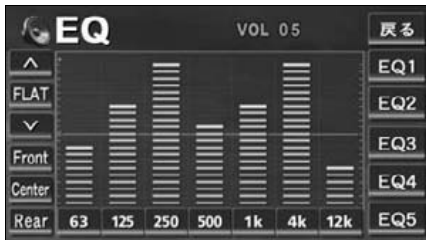
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 **EQ** にタッチします。

2 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。

3 タッチスイッチにタッチすると、表のような音質モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音質モードの種類
FLAT	EQ補正なし
EQ1	POPS に効果のあるカーブ
EQ2	ROCK に効果のあるカーブ
EQ3	JAZZ に効果のあるカーブ
EQ4	CLASSIC に効果のあるカーブ
EQ5	VOCAL に効果のあるカーブ

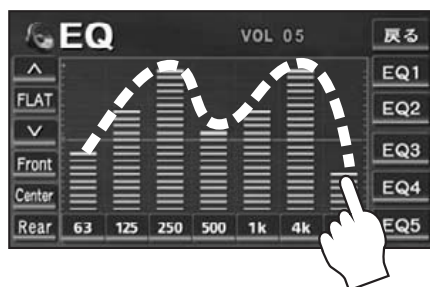
音質の調整

EQ カーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブをお好みの音質に調整、記憶させることができます。また、フロント、リヤ、センターのスピーカーを別々に調整、記憶させることができます。

1 **Front**、**Center**、または **Rear** にタッチします。

2 お好みのイコライザカーブをイメージして指でゆっくり画面にタッチします。



- 微調整するときは、調整したい周波数帯域にタッチする、または周波数スイッチにタッチし、画面左の **▲**、**▼** にタッチします。



3 記憶したいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 記憶されたイコライザカーブで設定できるようになります。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザカーブをあらかじめ設定されているイコライザカーブ（メーカー初期値）にもどすことができます。

1 イコライザカーブを呼び出します。

2 **FLAT** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- イコライザカーブが初期値にリセットされます。



微調整時に **▲**、**▼** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **▲**、**▼** にタッチしてください。

POS（ポジショニングセレクター）の調整

人数、乗車位置に合わせて、音場感が楽しめる音像定位に切り替えることができます。各シートにタッチして簡単に音像定位を切り替えることができます。

1 POS にタッチします。



2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションは水色に表示が替わります。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を中心にした音場		前席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場		後席を中心にした音場



POS（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

音質の調整

音量バランスの調整

前後左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

1 **POS** にタッチします。

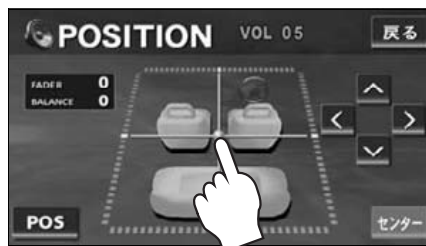


2 **FADER BALANCE** にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときには、**▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチします。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **センター** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が0になります。)



- FADER BALANCE (音量バランス) は、POS (ポジショニングセレクト) と同時に設定できません。
- 微調整時に **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値になった場合は停止するので、再度 **▲**、**▼**、**◀**、または **▶** にタッチしてください。

MP3/WMA 音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

- 1 ハーモナイザーの **Low**、または **Hi** にタッチします。
- **Low**：補正効果が小さい
Hi：補正効果が大きい
OFF：補正なし
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 **INFO** を押します。
 - 2 **設定** にタッチします。
 - 3 **次ページ** にタッチします。
 - 4 LOUDNESS の **ON**、または **OFF** にタッチします。
- 設定完了後、**設定完了** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽ディスクを再生しているときのみ効果があります。

音質の調整

サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの位相切り替え（出力タイミングの切り替え）や出力調整を設定します。

位相を切り替える（Phase Control）

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものが、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相を設定することができます。

1 **Normal**、または **Reverse** にタッチします。

- **Normal** : 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする

Reverse : 各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの出力を調整する

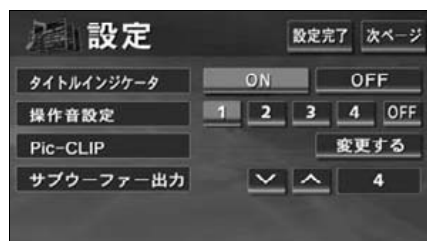
サブウーファの出力レベルを調整することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 サブウーファ出力の **▲**・**▼** にタッチします。

- 出力レベルは4段階の設定ができます。



4 **設定完了** にタッチします。

サラウンドシステムの調整

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logicに対応しており、これらの方式で記録されているディスクを再生すると、限られた空間でも、映画館のような臨場感あふれるサウンドを楽しむことができます。

ch (チャンネル) … 同時に再生することのできる音源の数

Dolby Pro Logicを設定する

本機でDolby Pro Logic処理されたDVDビデオを再生する場合、ドルビー効果のON、OFFを切り替えることができます。

ドルビー効果をONにすると、2chで録音されている名画や旧作品も豊かな臨場感で楽しむことができます。

1 SOUND 調整画面で **SET** にタッチします。

2 **AUTO**、**ON**、または **OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。
- お好みにより、各タッチスイッチにタッチしてDolby Pro Logicの設定を切り替えることができます。



タッチスイッチ	機能
AUTO	Dolby Pro Logicで処理されたDVDビデオを再生する場合はドルビー効果をON、それ以外はOFFにします。
ON	2chで記録されたDVDビデオを再生する場合、全てドルビー効果をONにします。
OFF	ドルビー効果をOFFにします。



Dolby Digital(5.1ch) や DTS(5.1ch) 音声で再生するためには、センタースピーカー、サブウーファが必要です。(詳しくは、販売店にお問い合わせください。)

音質の調整

COMPRESSIONを調整する

Dolby Digital(5.1ch) 対応のディスクを再生する場合に、音域の幅（最大値と最小値の差）を調整することができます。COMPRESSIONレベルが大きくなると、音域の幅が狭くなり、効果音などが大きい場面でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

1 SOUND調整画面で **SET** にタッチします。

2 **▲**・**▼** にタッチします。

- **▼** にタッチし続けると“OFF”に、**▲** にタッチし続けると“Full”になります。調整レベルと機能については下記を参照してください。
調整レベルの表示が切り替わるのに、約2秒ほどかかります。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



調整レベル	機能
OFF	COMPRESSIONの効果をOFFにします。
1～7	COMPRESSIONの効果を好みに合わせて調整することができます。
Full	COMPRESSIONの効果を最大にします。

Center Blendを調整する

Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM 対応のディスクを再生する場合でDolby Pro LogicがON時に、センタースピーカーから聞こえる会話やセリフなどを、左右のフロントスピーカーにブレンドし、センターの音像定位を調整することができます。

1 **▲**、または **▼** にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各5段階です。
+側：フロントスピーカー（Rch）にブレンドするレベルを大きくする
-側：フロントスピーカー（Lch）にブレンドするレベルを小さくする
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

Dolby Pro Logic 処理されたDVD ビデオを再生する場合、Dolby Pro Logicが“OFF”に設定されていると、Center Blendは調整できません。Dolby Pro Logicを“AUTO”、または“ON”に切り替えてから調整してください。（「Dolby Pro Logicを設定する」前ページ参照）

Center Levelを調整する

センタースピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整して、会話やセリフなどを聞きとりやすくすることができます。

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各 10 段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



Rear Levelを調整する

リヤスピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整することができます。

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- 調整レベルは+側、-側各 10 段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



音質の調整

スピーカーの調整

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離調整（タイムアライメント）や各スピーカーの出力調整により、全体的な音のバランスを調整し、理想的な音像定位を創り出すことができます。

スピーカーサイズを設定する

お車のスピーカーサイズを設定することができます。

- 1 SOUND 調整画面で **SET** にタッチします。



- 2 **SP設定** にタッチします。

- スピーカー設定画面が表示されます。



- 3 スピーカーサイズおよびWoofer（ウーファ）の有無を選択します。

- 各タッチスイッチはタッチすることにより下記のように切り替わります。



- スピーカー設定画面

タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り替わり方
Center	LARGE → SMALL ↑ NONE ↓
Rear	
Woofer	YES ↔ NO

各スピーカーの設定と機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機能
Center (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Rear (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
Woofer (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。

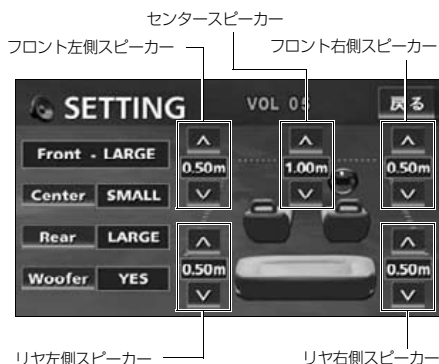


- スピーカーが接続されていない位置のスピーカーサイズは設定できません。
- スピーカーサイズおよびWoofer (ウーファ) の接続は必ず設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定していないと、音声出力されない場合があります。
- Frontはあらかじめ“LARGE”に設定されています。
- モノラル方式のDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続している場合は、Centerを“NONE”に設定してください。センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。

音質の調整

タイムアライメントの調整

- 1 SOUND 調整画面で **SET** にタッチします。
- 2 **SP設定** にタッチします。
 - スピーカー設定画面が表示されます。
- 3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーからお聞きになる位置までの距離を設定します。
 - 設定範囲は0～4mです。距離の数値が小さくなると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。
 - 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



出力レベルの調整

- 1 SOUND 調整画面で **SET** にタッチします。
- 2 **SPレベル** にタッチします。
 - スピーカーレベル設定画面が表示されます。
- 3 **▲**・**▼** にタッチして、各スピーカーの出力レベルを設定します。
 - 設定範囲は、-12～0dB です。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。
 - 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



- スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーサイズの設定で“Center”、“Rear”、“Woofer”を“NONE”または“NO”に設定した場合に、お聞きになる位置までの距離や各スピーカーの出力レベルを調整しても機能しません。
- POSの設定で、シートが選択されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルは調整できません。POSを“OFF”に切り替えてから設定してください。〔POS（ポジショニングセレクター）の調整〕27 ページ参照〕

背景画の設定

オーディオ操作画面やインフォメーション（情報）画面、オープニング画面の背景画をお好みの壁紙に切り替えることができます。

Pic-CLIPの設定

ナビゲーションのメニュー画面やインフォメーション（情報）画面、オーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDやCD-R/RW、“MGメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを取り込み、お気に入りのPic-CLIPを背景画として表示することができます。

Pic-CLIPを切り替える

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。



4 **1**、**2**、**3**、**4**、**カスタム** のいずれかにタッチします。



- 選択した画像を表示します。
- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。（画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。）
- Pic-CLIPの書き換えは次ページを参照してください。

5 **完了** にタッチします。

背景画の設定

画像データを書き換える

HDDやCD-R／RW、“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データをPic-CLIPとして表示することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。

3 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。

4 **カスタムの変更** にタッチします。



5 **MEMORY STICK**、**CD**、または**HDD** にタッチします。

6 Pic-CLIPに設定するデータにタッチします。



7 **決定** にタッチします。

● **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。



●プレビュー画面



ワンポイント

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」40 ページ参照）
- CD-R／RWから書き換える場合は、記録したCD-R／RWをCD・DVD差し込み口に差し込んでください。
- “メモリースティック”から書き換える場合は、記録した“メモリースティック”を、“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。
- MUSIC JUKE に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。（「**MUSIC JUKE への録音**」90 ページ参照）
- 複数のデータがある場合は、**▲**、**▼** にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

8 **戻る** にタッチします。

9 **カスタム** にタッチします。

● 設定したPic-CLIPが表示されます。

10 **完了** にタッチします。



使用できる画像データについて

Pic-CLIPに使用できる取り込み画像は下記の条件で書き込まれたメディアになります。下記の条件以外で書き込まれたファイルは、リスト表示できなかったり、ファイル名を正しく表示できない場合があります。

	CD-R／RW	“メモリースティック”
ディスクフォーマット	ISO9660規格 (MODE1)	—
画像容量	500KB以下 (1 ファイル当たり)	
表示ファイル名	ISO9660 LEVEL2方式	半角8文字.JPG
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)	
書き込み方式	シングルセッションのみ	—
表示ファイル数 (枚数)	100まで	
画像サイズ	横800×縦480dot以下	
表示文字数	半角16文字* (+.jpg) まで *半角数字、半角英字 (大文字)、記号 “_” (アンダースコア) のみ	
表示ファイル	ルートディレクトリのみ (最上階層のみ)	

- 推奨サイズを超える場合は、プレビューおよび取り込みできません。
- 推奨サイズより小さい場合は、縦横ともセンタリング (中央表示) して表示します。
- 画像データの取り込みは1画面のみになります。

背景画の設定

画像データを保存する

CD-R/RWや“MG メモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDへ保存** にタッチします。

● データ保存画面が表示されます。



5 **MEMORY STICK**、または **CD** にタッチします。

● タッチしたメディアに保存されている画像データを表示します。



- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをCD・DVD差し込み口に差し込んでください。
- “メモリースティック”からHDDに保存する場合は、記録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。音楽と画像データが混在する“メモリースティック”で、“メモリースティック”の音楽を再生中に画像データを保存する場合、音楽の再生が一時停止します。保存が完了してから音楽を再生してください。
- MUSIC JUKEに音楽や音声録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。【MUSIC JUKEへの録音】（90 ページ参照）

- 6** 保存したい画像データにタッチします。

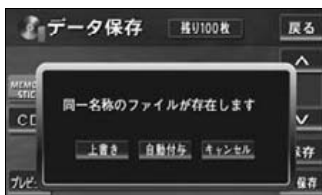


- 7** **保存** にタッチします。

- **全保存** にタッチすると“MG メモリースティック”、または“メモリースティック”、CDに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、**戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。

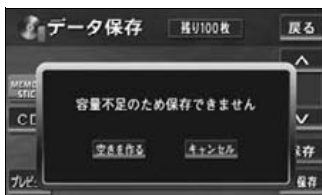


- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。



- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例) “AA1.jpg” がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の “AA1.jpg” には “001_AA1.jpg” と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** タッチ後に **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。

- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。



- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。
(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。

背景画の設定

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **HDDから消去** にタッチします。

● データ消去画面が表示されます。



5 画像データにタッチします。

6 **消去** にタッチします。

● **全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。



7 **YES** にタッチします。

画面の調整・設定

オーディオの操作画面や、TV、DVD、VTRなどの画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。また、操作画面などを自動解除、または継続表示に設定することができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面のコントラストや明るさ、TV、DVD、VTR画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜TV・DVD・VTR画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

画面の調整・設定

1 オーディオモードの操作画面、またはTV、DVD、VTR画面で **マルチW/画質** を1秒以上（ピーツと音がするまで）押します。

2 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

ライト点灯時に昼画表示にするには

1 **昼画面** にタッチすると、昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

画面を消すときは

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには、**NAVI** を押します。



ワンポイント

「優先画面の設定」(46 ページ) で画面の切り替えを自動解除に設定すると、操作画面を表示させてから約20秒以上操作をしなかったときは、画面に何も表示されなくなります。(**画面消** にタッチした状態にもどります。)

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●TV・DVD・VTR画面時

基本操作

■色合い (TV・DVD・VTR画面時のみ)

- 1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

■色の濃さ (TV・DVD・VTR画面時のみ)

- 1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

■コントラスト

- 1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■明るさ

- 1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

画面の調整・設定

優先画面の設定

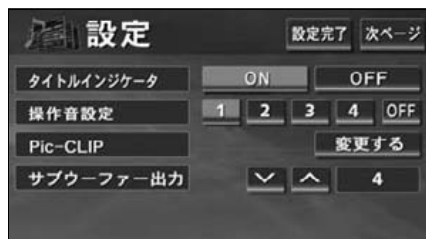
インフォメーション（情報）画面、オーディオ・MUSIC JUKE・TV・DVD 操作画面を表示させて、約20 秒以上操作しなかったとき、「自動解除」（もとの画面にもどる）、または「継続表示」に切り替えることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 優先画面設定の **自動解除**、または **継続表示** にタッチします。

- 各画面を継続して表示させるには **継続表示** にタッチしてください。

5 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

優先画面設定を **自動解除** に設定すると、オーディオ操作画面を表示しても、自動でナビゲーション画面に切り替わります。オーディオ操作画面を表示させる場合は、**AUDIO CONT** を押してください。また、ACC を OFF から ON にしたときに、オーディオ画面を表示させる場合も、同様に **AUDIO CONT** を押してください。

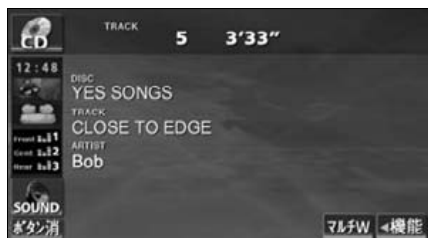
タッチスイッチの表示切り替え

画面スイッチの表示切り替えについて

オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

- 1 オーディオ操作画面や、DVD・TV・VTR設定画面で、**ボタン消** にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。



- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。

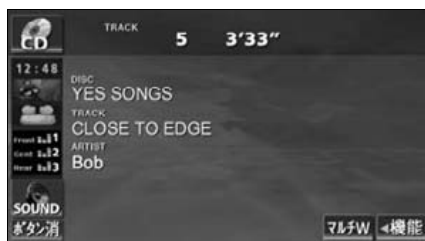


機能スイッチの表示について

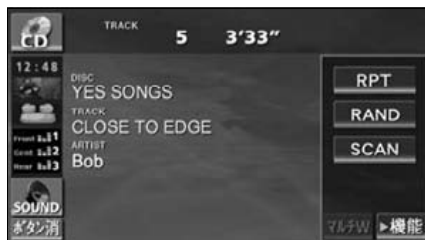
オーディオ操作画面やTV設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

- 1 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって違います。



- **機能** にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。



画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 DVD・TV・VTR設定画面で、**ワイドモード** にタッチします。

- ワイドモード切り替え画面になります。
- **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、**→NEXT**、**設定** の順にタッチ

TV：操作画面で、**設定**、**機能** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。

- ワイドモードを選択します。



●ワイドモード切り替え画面



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

- ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

- 1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。
- 2 AM ラジオを受信するときは **AM** に、FM ラジオを受信するときは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

- 1 **▲/▶**、または **▼/◀** を押します。
 - **▲/▶** (上側)：1 ステップずつ上がる
 - **▼/◀** (下側)：1 ステップずつ下がる (1 ステップ：AM 9kHz、FM 0.1MHz)

自動で選ぶ

- 1 **▲/▶**、または **▼/◀** を“ピツ”と音がするまで押します。
 - 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
 - 放送局の記憶は「**放送局を記憶する**」(次ページ)を参照してください。



受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

ラジオの使い方

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P**、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、AUTO.Pまたはエリアからマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 機能スイッチ表示画面で、**AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピーッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

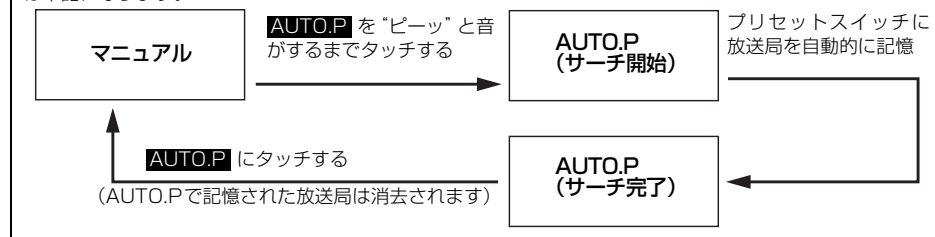
1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態に戻ります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.Pスイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

- 1 機能スイッチ表示画面で、**エリア** にタッチします。
- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。

- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

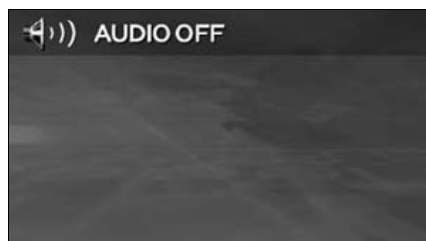
ラジオを受信したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

- 1 機能スイッチ表示画面で、**局名** にタッチします。
- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できて、放送局名を表示できない地域があります。



ラジオを止める

- 1 **PWR** を押します。
- もう一度 **PWR** を押すと、電源を切る前の受信放送局（周波数）が受信されます。



ラジオの使い方

Click Radioについて

本機は、JFN系列の放送局で放送されている曲名やアーティスト名などの文字情報を受信し、お聞きになっている音楽のタイトル情報などを表示することができます。また、タイトル情報をメモリースティックに書き出し、パソコンに読み込ませると、インターネットを通じて、気になっていた“あの曲”が収録されているCDアルバムなどさまざまな情報を得ることができます。

※クリックラジオは(株)電通の登録商標です。楽曲情報は(株)メロディーズアンドメモリーズグローバルのメロディーズ&メモリーズデータベースを使用しています。クリックラジオは(株)メディアクリックが行うサービスです。

文字情報を表示する

今、聞いているFMの放送局がClick Radioのサービスに対応している場合、画面に文字情報を表示することができます。

1 Click Radio にタッチします。

- Click Radioの文字情報を受信すると、画面上部に、“Click Radio”のインジケータが表示されます。



2 表示する情報にタッチします。

- 受信した内容が表示されます。表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。
- **戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。



複数の情報がある場合、**▲**、**▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

文字情報を保存する

受信した文字情報を本機のハードディスクへ保存します。

文字情報は最大30件まで保存することができます。

1 **Click Radio** にタッチします。



2 保存する情報にタッチします。

3 **Click** にタッチします。

- すでに、30件保存されているときに、**Click** にタッチすると、自動で、古い情報を消去し、新しい情報を保存します。



- すでに保存されている情報は、重複して保存することはできません。
- 複数の情報がある場合、**▲**、**▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

ラジオの使い方

文字情報をメモリースティックへ書き出す

本機に保存されている文字情報を、“MGメモリースティック”、または“メモリースティック”に書き出すことができます。

1 “メモリースティック”を差し込みます。

2 **Click Radio** にタッチします。

3 書き出す情報にタッチします。

4 **書出し** にタッチします。

- 情報が“メモリースティック”へ書き出されます。



文字情報を消去する

1 **Click Radio** にタッチします。

2 消去する情報にタッチします。

3 **消去** にタッチします。

- 情報が消去されます。



- 複数の情報がある場合は、**▲**、**▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。
- 音楽のタイトル情報を書き出した“メモリースティック”を、インターネットに接続されたパソコンに差し込み、(株)メディアクリックの情報を取得する場合、専用のアプリケーション(無料)が必要です。詳しくは、<http://www.media-click.net>をご覧ください。

CD プレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- 本機のMUSIC JUKEは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、CDを差し込み、自動で再生が始まると、同時に自動でMUSIC JUKEへ録音を開始します。●REC を1秒以上押すと録音を停止します。
- 録音中は“●REC”および録音の進捗バーを表示します。「MUSIC JUKEへの録音」(91ページ参照)

1 CDが差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

2 **CD** にタッチします。
● 再生を始めます。



ワンポイント

- CD-TEXT など、タイトル情報（タイトルや曲名など）が記録されているときは表示することができます。
表示文字数は半角文字で最大28文字、全角文字で最大14文字です。
収録タイトル文字数の多いCD-TEXT では表示できない場合があります。
- CD-R/RW のCD-TEXT は表示できない場合があります。
- 再生している音楽CDにタイトル情報が収録されていなくても、本機のデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- DTS-CD を再生すると、**ds** を表示します。
- DTS-CD を再生する場合、スピーカーの設定状況により、音声が出力されない場合があります。（「スピーカーの調整」34ページ参照）

CD プレーヤーの使い方

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または  を押します。

-  (上側) : 次曲を選ぶとき
-  (下側) : 前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (上側) : 曲を進めるとき
 -  (下側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。
- MUSIC JUKE 録音中に、CDをOFFにしても録音は継続されます。
録音を停止する場合は、●**REC** を1秒以上押します。

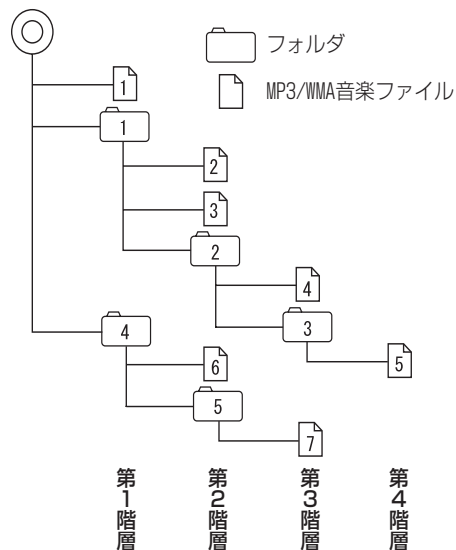
MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。

〈MP3/WMA ファイル作成例〉



MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口に CD を差し込むと、再生を始めます。

1 CD が差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

2 **MP3/WMA** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、**1**→**2**→**3**→**4**→**5**→**6**→**7** の順に再生します。
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に再生します。



ワンポイント

- CD にフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは半角文字では最大 8 文字まで、全角文字では最大 4 文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、半角文字では最大 28 文字、全角文字では最大 14 文字まで表示できます。（「音楽ファイル情報などを表示する」59 ページ参照）
- DRM（著作権管理 Digital Rights Management）システムの WMA ファイルは再生できません。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ () にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル切り替えスイッチから選ぶ

1 音楽ファイル () にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが8個以上ある場合は、   にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 、または  を押します。

-  (上側) :
次の音楽ファイルを選ぶとき
-  (下側) :
前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピツ”と音がするまで長く押します。

-  (上側) : 曲を進めるとき
 -  (下側) : 曲を戻すとき
- “ピツ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1  にタッチします。

- 表示している1つ上の階層のフォルダ、ファイルを画面に表示します。



MP3/WMA ファイル作成例については前ページを参照してください。

画面に“”、“”、“”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に  にタッチすると、“”、“”、“”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

- 1 **HOME** にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

- 1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返し再生して聞く

- 1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。
もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

- 1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの中から任意にファイルを選び出し再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

- 1 **TITLE** にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、
TITLE OFF にタッチするとフォルダ／ファイル切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMA を止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。



ワンポイント

- MP3/WMAファイル作成例については57 ページを参照してください。

第3 階層の [4] を再生中、画面に “2”、“3”、“2” の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、“4”、“3” の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

- 再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、半角文字では最大 28 文字、全角文字では最大 14 文字です。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1／10 のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。

本機で利用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットに制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

本機で利用できるMP3エンコーダソフト一覧（推奨）

MP3エンコーダソフト名		
名称	バージョン	メーカー
MP3 JUKEBOX6	Ver 6.00.2097SMI	キャノンシステムソリューションズ
MP3 JUKEBOX7	Ver 7.10.4067SMI	キャノンシステムソリューションズ
Audio TOYBOX	Ver 1.10	Landport
MP3 StudioUnreal2	Ver 2.31	Landport
MP3 real juke Box2	Ver 1.0.2.264	ASCII
MP3 Audio Magic	Ver 1.12	TDK
MP3 Audio Magic Professional	Ver 4.0	TDK
DVD/MP3 Jet-Audio	Ver 4.95DVD	NOVAC
MAGIX MP3!	Ver 3.06	プロトンソフトボード事業部
BeatJAM X-treme	-	ジャストシステム
BeatJAM XX-treme	-	ジャストシステム

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3 (= MPEG1 Audio Layer Ⅲ)
- 対応サンプリング周波数 : 44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 64、80、96、112、128、160、192、224、256、320 (kbps)
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : ステレオ

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver.7、8、9
- 対応サンプリング周波数 : 32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート : 48、64、80、96、128、160、192 (kbps)
 ※ VBRに対応しています。(16～192kbps)
 ※ 可逆圧縮(ロスレス圧縮)には対応していません。
 ※ サンプリング周波数48kHz、ビットレート48kbpsの組み合わせで記録されたWMAファイルは、再生することができません。

サンプリング周波数と対応ビットレートについて

		サンプリング周波数 (Hz)		
		48 k	44.1k	32k
		2 (c h)	2 (c h)	2 (c h)
ビット レ ー ト (b p s)	192 k	○	○	—
	160 k	○	○	—
	128 k	○	○	—
	96 k	○	○	—
	80 k	—	○	—
	64 k	○	○	—
	48 k	×	○	△
	VBR	○	○	○
		最大 192k	最大 192k	最大 192k

- : 再生可能
 △ : 再生不可の可能性有り
 × : 再生できません。
 — : 組み合わせはありません。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機はID3v.1.0、ID3v.1.1 のID3 タグに対応しています。(Ver2.xには対応していません。)

WMA ファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、ID3タグと同様に曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

本機はWMAタグ情報を表示することができません。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R およびCD-RW です。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM (mode1)
- ファイルフォーマット：ISO9660レベル1、レベル2（拡張フォーマット除く）

日本語を含むフォルダ名／ファイル名を使用することもできますが、この場合はRomeo形式で書き込まないと文字化けします。

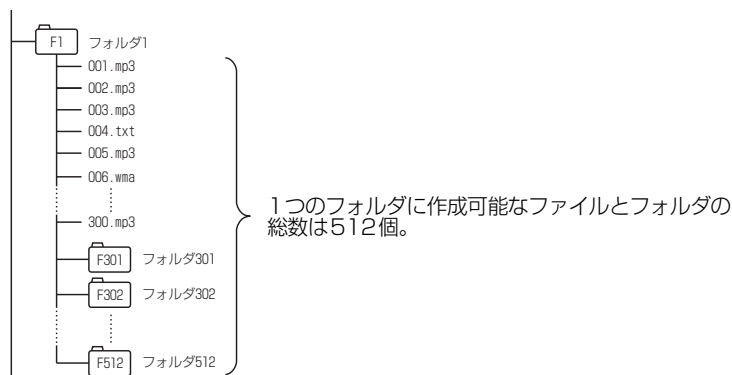
また、この場合は特に下記制限に注意してください。

上記フォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは正常に再生できなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

規格ならびに制限事項は次のとおりです。

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 最大フォルダ名／ファイル名文字数：半角31文字(区切り文字"."+拡張子3文字を含む)
- フォルダ名／ファイル名使用可能文字：A～Z、0～9、_（アンダースコア）
日本語（シフトJIS）
- 1つのフォルダ内に書き込み可能なファイルとフォルダの総数：512個

< MP3/WMA対応CDの構造例 >



- 一枚のディスクに書き込み可能なフォルダ、ファイルの総数：512個

ファイル名について

MP3/WMA と認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子"mp3"/"wma"が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、"mp3"/"wma"の拡張子を付けて保存してください。拡張子名"mp3"/"wma"は大文字でも小文字でもかまいません。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません)。
- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください)

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。(最大10分程度)なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMA ファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMA ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJIS コード）の昇順に表示
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示



注意

MP3/WMA 以外のファイルに "mp3"/"wma" の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、"mp3"/"wma"の拡張子を付けしないでください。

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMA ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CD を入れ、MP3/WMA エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/RW に書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されているCD- R/RW ドライブを介してCD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660レベル1またはレベル2（拡張フォーマット含まず）という記録フォーマットに設定して書き込みます。



ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Media は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

“メモリースティック” プレーヤーの使い方

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“MG メモリースティック”に記録された音楽データを再生することができます。



“メモリースティック” を聞く

“メモリースティック” 差し込み口に“MG メモリースティック”を差し込み、**CLOSE** にタッチします。

- 1 “MG メモリースティック” が差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、またはSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **MEMORY STICK** にタッチします。

- 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

- 1 **△/▶▶**、または **▽/◀◀** を押します。
 - **△/▶▶**（上側）：次曲を選ぶとき
 - **▽/◀◀**（下側）：前曲を選ぶとき



- 本機は、“MG メモリースティック”（白色）に記録されている音楽データのみ再生することができます。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽データは再生することができません。
- “MG メモリースティック”を差し込むと、約4秒間、データ確認のため操作できなくなります。
- “MG メモリースティック”にアーティスト名や曲名（トラック名称）などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字まで表示できます。
- 再生可能回数、または期限が制限されている場合は、画面に回数および期限を表示します。
- 再生可能回数、または期限が切れた場合は、メッセージを表示します。（144 ページ参照）

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (上側)：曲を進めるとき
-  (下側)：曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返して聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

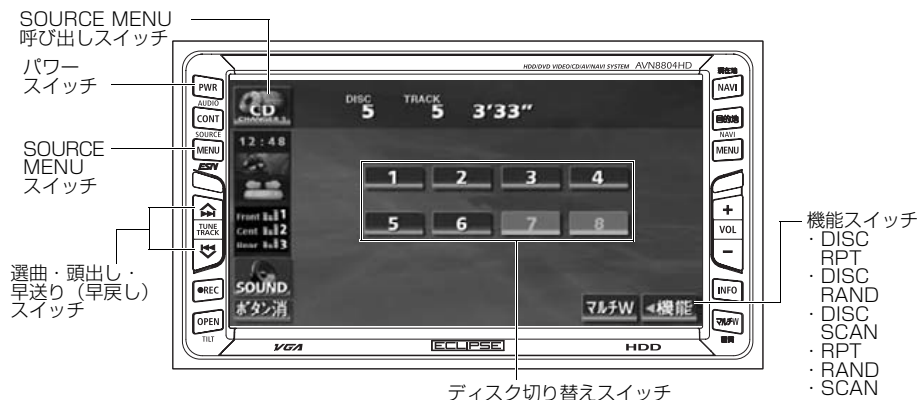
“メモリースティック” を止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 切り替えスイッチにタッチします。

2 CDチェンジャー 1 台を接続している場合は **CD CHANGER1** に、CD チェンジャー 2 台を接続している場合は **CD CHANGER1**、または **CD CHANGER2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CD プレーヤーの使い方」(56 ページ) を参照してください。

早送り・早戻しする

「CD プレーヤーの使い方」(56 ページ) を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

● 選択されたCDの番号が反転します。



ワンポイント

- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- CDチェンジャーにCDが挿入されていない場合には、CD チェンジャーモードに切り替えることができません。
- CDチェンジャーおよびCD チェンジャーデッキが接続されている場合は、**CD CHANGER1**、または **CD CHANGER2** にタッチすると切り替えることができます。

チェンジャー内の全CD から聞きたい曲やCD を探す

聞きたい曲を探す

「CDプレーヤーの使い方」(56 ページ) を参照してください。

聞きたいCDを探す

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC SCAN** にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、最初の10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じCDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CDプレーヤーの使い方」(56 ページ) を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RPT** にタッチします。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CDプレーヤーの使い方」(56 ページ) を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RAND** にタッチします。

- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

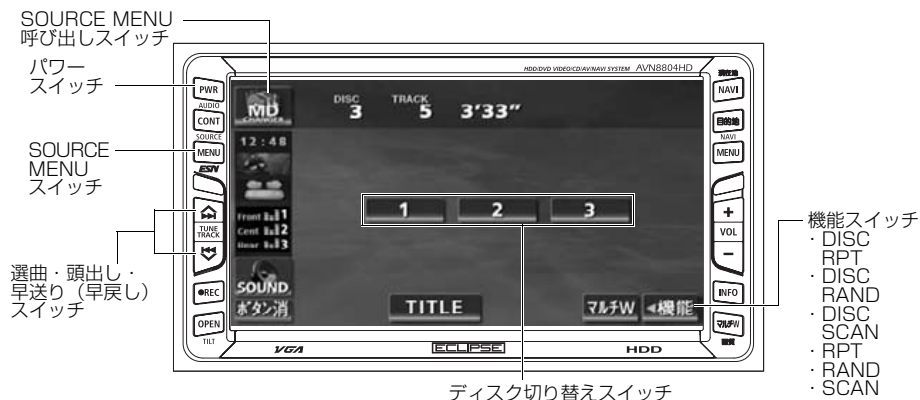
CDを止める

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MD チェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 切り替えスイッチにタッチします。

2 **MD CHANGER** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **△/▶▶**、または **▽/◀◀** を押します。

- **△/▶▶** (上側): 次曲を選ぶとき
- **▽/◀◀** (下側): 前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 **△/▶▶**、**▽/◀◀** を“ピッ”と音がするまで押します。

- **△/▶▶** (上側): 曲を進めるとき
- **▽/◀◀** (下側): 曲を戻すとき

“ピッ”と音がすると早送り (早戻し) モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り (早戻し) します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたMDの番号が反転します。



ワンポイント

- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
TITLE にタッチすると、半角文字では最大28文字まで表示できます。
- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- MD チェンジャーが接続されている場合は、**MD CHANGER** にタッチすると切り替えることができます。

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

- 1 機能スイッチ表示画面で、**SCAN** にタッチします。
- 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC SCAN** にタッチします。
- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの 10 秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

- 1 機能スイッチ表示画面で、**RPT** にタッチします。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RPT** にタッチします。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

- 1 機能スイッチ表示画面で、**RAND** にタッチします。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

- 1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RAND** にタッチします。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めています。このため、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

- 1 **TITLE** にタッチします。
- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチに表示が切り替わります。

MDを止める

- 1 **PWR** を押します。
- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CDプレーヤーからCDアルバムを録音すると、「Gracenote CDDB® 音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音※と、CDプレーヤー以外のオーディオモードから録音し、録音したオーディオモードや録音日別にプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

※…該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

MUSIC JUKEの構成について

MUSIC JUKEは、録音された音楽・音声を7種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



プレイモード

録音した音楽（トラック）を7つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。

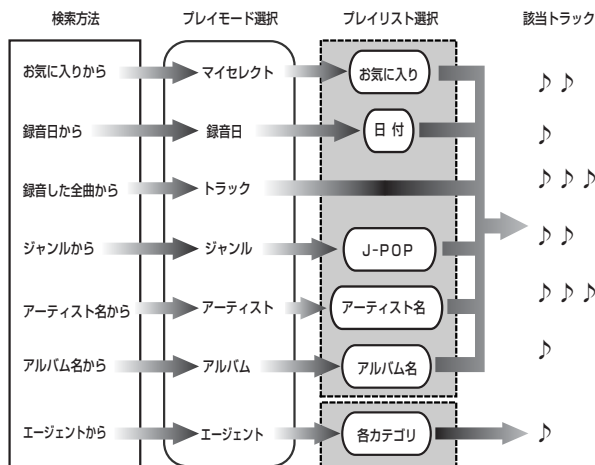
プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。



トラック

録音した音楽、音声データのタイトル



プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC JUKEに保存します。

録音した音楽は、7種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
アルバム	● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイティング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイティング機能でアルバム名が付与されなかった場合はソース／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
マイセレクト	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストです。編集作業で新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
トラック	● プレイリストはありません。 ● 曲名から選曲することができます。
アーティスト	● オートタイティング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
ジャンル	● オートタイティング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することができます。
録音日	● 録音した日付別にプレイリストを作成します。
エージェント	● プレイリストはありません。 ● オートタイティング機能で、録音された曲のカテゴリ（イメージ・年代・シーン・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。



MUSIC JUKEには、最大999個※のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲※までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大3000曲※です。

※…録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバム（アルバム/シングルディスク）をMUSIC JUKEにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote CDDb、およびメディアクリックのデータベース情報を使用しています。

Gracenote CDDbについて

Gracenote is CDDb, Inc. d/b/a "Gracenote."

CD and music-related data from Gracenote CDDb®

Music Recognition Service © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

Gracenote CDDb Client Software © 2000, 2001, 2002 Gracenote.

米国特許番号 5,987,525, 6,061,680, 6,154,773 その他特許取得済みまたは申請中。

CDDbはGracenoteの登録商標です。Gracenoteロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDbロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDb"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。

音楽認識技術及び関連データは、Gracenote及びthe Gracenote CDDb Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。

より詳しい情報は、www.gracenote.comをご覧ください。



「Gracenote CDDb® 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

メディアクリックデータベース (MCDB) について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDB

- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDB サービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。
本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2003年10月時点のデータです。

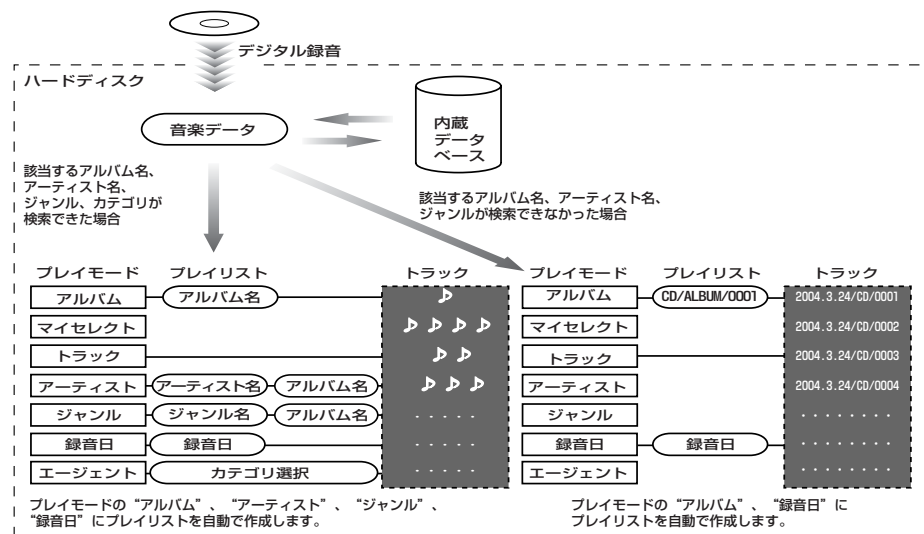
MUSIC JUKE をお使いになる前に

オートタイティング機能について

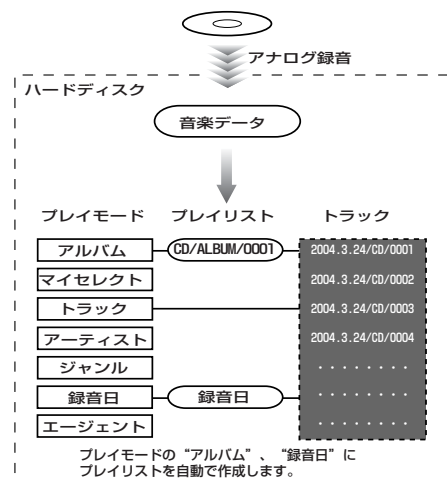
本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※…オートタイティング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。

デジタル録音



アナログ録音



ワンポイント

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。

アルバムプレイモード…

ソース／ALBUM／4桁の番号※

トラックプレイモード…

日付／ソース／4桁の番号※

※…日付が変わった場合、番号を1から順に付与する。

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベースのバージョン情報を見ることができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 **バージョン情報** にタッチします。



5 **CDDDB**、または **MCDB** にタッチします。

- CDDDB、またはMCDBのデータベース情報を表示します。



MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベースの更新について

本機のデータベース（CDDDB、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。なお、更新データの提供については、別途、弊社よりご案内する予定です。

CDDDBを更新する

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 更新データの書き込まれた”メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

5 CDDDBの **MSでの更新**、または **CDでの更新** にタッチします。

● データベースの更新を開始します。



ワンポイント

一度付与されたタイトル情報は、Gracenote CDDDB データベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動では変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「**タイトル情報の再取得**」（105 ページ）を参照してください。

メディアクリックのデータベースを更新する

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



3 **データ管理** にタッチします。



4 更新データの書き込まれた”メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

5 メディアクリックデータベースの **MSでの更新**、または **CDでの更新** にタッチします。

● データベースの更新を開始します。



MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベースの受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」（エフエム デ タイトル）を受信し、FM多重放送を使って配信されているCDDB(音楽のタイトル情報)を取り込むことができます。簡単に、最新のタイトル情報を本機内蔵のデータベースに保存することができます。

保存されたタイトル情報と、お聞きになる音楽CDや音楽データ（MUSIC JUKE）のタイトル情報が同じ場合、画面に情報を表示します。

※「FM de TITLE」（エフエム デ タイトル）は、FM多重放送を使い、毎週約50タイトル（最大）のCD楽曲データベース（音楽のタイトル情報）を無料で配信するサービスです。

タイトル情報の受信について

FM de TITLEのタイトル情報配信サービスは、VICS情報などと同じように、違うオーディオを聞いている情報を受信することができますが、下記の場合、情報を受信できなくなります。

- FM-VICSの受信を設定した場合
- JFN系列局以外のFM多重放送（見えるラジオ）の受信を設定した場合
- JFN放送局を受信できないエリアにいる場合
- オーディオOFFの場合

受信したタイトル情報は「**タイトル情報を表示する**」（次ページ）で確認することができます。画面には、最大1000個表示することができます。1000個を超える場合は、古いものから自動で削除します。

タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、「**タイトル情報の受信について**」（上記）などで、情報の受信が一時中断された場合や、下記の場合、保存できなくなります。

- 一度、受信および保存されたタイトル情報を、再度受信した場合
- Music Jukeで再生、録音、または編集作業を行った場合
- “メモリースティック”で音楽の再生を行った場合
- 壁紙を書き換えた場合
- “メモリースティック” およびCD-R/RWでデータベースを更新した場合
- ハードディスクに画像データを保存した場合
- 販売店にて書き換え作業を行った場合

※タイトル情報を保存中にMusic Juke、または“メモリースティック”を再生すると、音切れする場合があります。

タイトル情報を受信する

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

- 1 ナビゲーションのメニュー画面で、**VICS** にタッチします。



- 2 FM多重チューナー設定の**CDタイトル** にタッチします。

- VICS 情報を受信していたときは、VICS の受信を中止し、タイトル情報放送局に切り替えます。
- FM de TITLEは一度に配信する情報量が決まっており、一度受信・保存が完了し、次回の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS放送の受信に切り替わります。但し、ACCをONにするたびに、FM de TITLEの放送を受信します。



タイトル情報を表示する

ハードディスクに保存されたタイトル情報を表示します。保存されたタイトル情報の表示が可能になった場合、画面にタイトルインジケータを表示します。

——タイトルインジケータ



- 1 **INFO** を押します。

- 2 **タイトルチェック** にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。



- 3 表示したいタイトルリストにタッチします。

- タイトル情報表示画面を表示します。
- 1つのタイトルリストの中に、最大約50個のタイトル情報が入っています。



MUSIC JUKE をお使いになる前に

■タイトルCheck 画面の見方



●タイトルリスト画面



●タイトル情報表示画面

- ①放送局側が最初に配信した日付
受信した順に、上から新しいタイトル情報を表示しています。
- ②タイトル情報の並び替え
タイトル情報を、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。

タイトルインジケータの表示切り替えを設定する

タイトル情報表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。

インジケータの表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。

1 **INFO** を押します。

2 **設定** にタッチします。



3 タイトルインジケータの **ON**、または **OFF** にタッチします。



タイトル情報を再保存する

「タイトル情報の保存について」で、情報の受信が一時中断された場合や保存されなかった場合にタイトル情報を再保存することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。

3 **タイトルチェック** にタッチします。

4 **タイトル更新** にタッチします。

- タイトル情報更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、直前の画面にもどります。



●タイトル情報更新画面



MUSIC JUKE をお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。録音可能な曲数や、作成可能なプレイリスト数も確認することができます。

1 **INFO** を押します。

2 **次ページ** にタッチします。



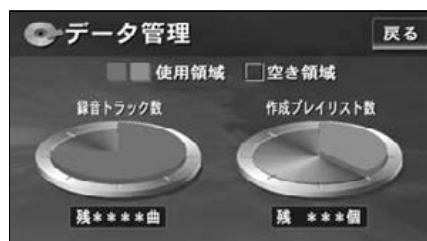
3 **データ管理** にタッチします。



4 **確認** にタッチします。

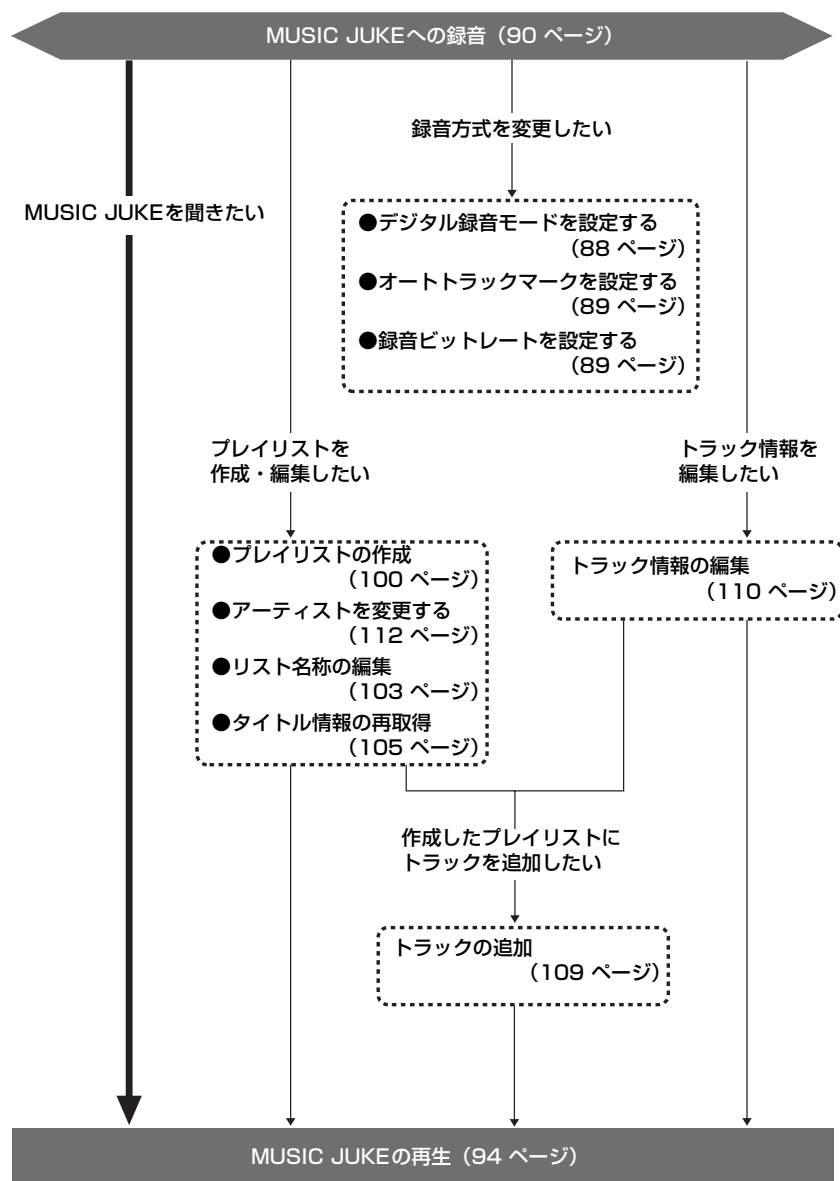


● ハードディスクの容量を表示します。



操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音について

- 本機は、内蔵のCDプレーヤー、別売のCDチェンジャー・MDチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）で放送している・再生している音楽・音声をMUSIC JUKEに録音することができます。
- MP3/WMA ファイル、“メモリースティック”、DVDから録音することはできません。

録音できるソースと録音方式について

MUSIC JUKEは、録音できるソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なソース
デジタル録音（4倍速録音）	CDプレーヤー
アナログ録音（等倍速録音）	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- ACC ONの状態で録音している時に、エンジンスタートすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声が聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- MUSIC JUKEに録音された曲は、最後に録音されたものから順に再生します。音楽CDを録音すると、選択するプレイモードにより、音楽CDの収録順とは逆の順番で再生される場合があります。再生順については、「聞きたいトラック（曲）を選ぶ」94ページを参照してください。また、再生する順番を並び替えることもできます。並び替えについては、「プレイリストの並び替え」107ページを参照してください。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。録音が完了した後、エンジンOFF（ACC OFF）やソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して出力します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音できません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面にを表示します。

デジタル録音（4倍速録音）について

- 本機のデジタル録音は、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することができますので、再生しているトラック（曲）と録音しているトラック（曲）は違います。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
 - ・音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW※
 - ・録音が禁止されている音楽CD※
 ※ RECを押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
 - ・録音中にお車のエンジンをOFF（ACC OFF）にした場合
 - ・録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。
 - ・エンジンをONにした場合※¹
 - ・CDを挿入した場合※²
 ※¹ 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
 再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
 エンジンOFF直前に録音中だった場合のみ、エンジンをONにすると録音を開始
 ※² 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
 再生：挿入したCDの最初から再生を開始
- 下記の場合、録音を継続します。
 - ・録音中にソースを切り替えた場合
 - ・録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度CDモードに切り替えてください。

アナログ録音（等倍速録音）について

- アナログ録音は、5時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 **● REC** を押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンをOFF（ACC OFF）にした場合、録音を中止します。また、録音中、ソースを切り替えると録音は中止されます。

MUSIC JUKE への録音

録音方式の設定

MUSIC JUKEの録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能**、**設定** の順にタッチします。



● MUSIC JUKE操作画面

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。
- MUSIC JUKE設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



● MUSIC JUKE設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のAUTO、SELECTの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	107

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する **AUTO**、またはパネルスイッチ（**REC**）を押し、録音したいトラック（曲）を選択する **SELECT** に切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能**、**設定** の順にタッチします。

- 2 **AUTO**、または **SELECT** にタッチします。

- **AUTO** ……CDを差し込むと、自動で録音を開始。
- **SELECT** ……**REC** を押し、トラックを選択後、録音を開始。



オートトラックマークを設定する

CDをアナログ録音方式で録音する場合に、トラック（曲など）とトラックの間（区切り位置）を設定します。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**◀機能**、**設定**の順にタッチします。

2 **ON**、または**OFF**にタッチします。

- **ON** ……CDなどは、曲と曲の間にある無音部分を区切り位置として、トラックを設定する。CD以外のソースを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。



録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC JUKE操作画面で、**◀機能**、**設定**の順にタッチします。

2 **132k**、**105k**、または**66k**にタッチします。

- デジタル録音時は、132k に固定されます。



ワンポイント

オートトラックマークがONの場合でもトラックを分割できないことがあります。

MUSIC JUKE への録音

MUSIC JUKE への録音

本機は、CD プレーヤーから MUSIC JUKE へ録音するデジタル録音と、CD プレーヤー以外のソースから MUSIC JUKE へ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CD の再生と同時に自動で録音を開始する AUTO 録音と **● REC** スイッチを押して、録音したい曲を選んでから録音を開始する SELECT 録音があります。

録音中は“●REC” および録音の進捗バーを表示します。

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	ソース (音声モード)	タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	CD	RPT RAND SCAN	△ 長押しのみ ▽ 長押しのみ
	CD 以外※	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、CD、 CD チェンジャー、 MD チェンジャー、 TV、VTR	RPT RAND SCAN DISC DISC DISC RPT RAND SCAN 各プリセットスイッチ エリア AUTO.P △ ▽ マルチ	△ ▽

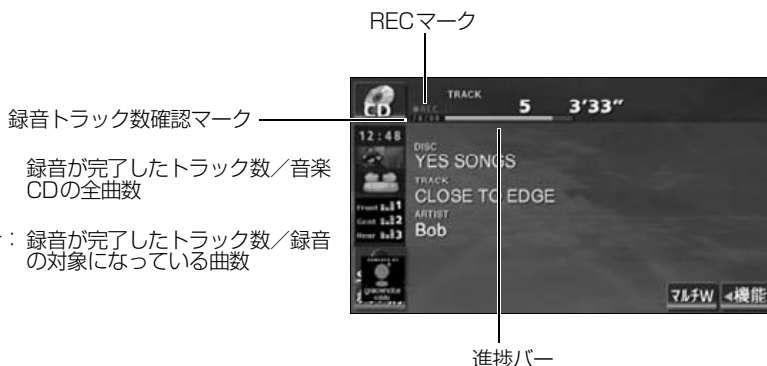
※ …デジタル録音しながら、ソースをラジオやTV、CD チェンジャー、MD チェンジャーに切り替えた場合。

CDを再生しながら自動で録音する

CDを差し込むと、4倍速で録音します。

1 CDを差し込みます。

- 自動で再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を停止します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**REC**を1秒以上押します。



AUTOの場合： 録音が完了したトラック数／音楽CDの全曲数

SELECTの場合： 録音が完了したトラック数／録音の対象になっている曲数



ワンポイント

- コピー許可されていないCD-R/RWや、CDプレーヤー以外のソースからMUSIC JUKE に録音する場合はアナログ録音となり、マニュアル操作でのみ録音することができます。
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。**REC**を押して録音を始めてください。（「CDの中から好みのトラック（曲）を録音する」次ページ参照）
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「デジタル録音モードを設定する」（88ページ参照）で録音モードを**SELECT**に設定してください。

MUSIC JUKE への録音

CDの中から好みのトラック（曲）を録音する

好みのトラック（曲）を選び、録音（4倍速）を開始します。

- 1 CDを再生中、または差し込まれているときに、**● REC** を1秒以上押します。

- 2 録音したいトラックにタッチします。



- 3 **開始** にタッチします。



- 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**● REC** を1秒以上押します。
- 録音中は“**● REC**”および進捗バーを表示します。（前ページ参照）



ワンポイント

- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。
- CD を差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、「**デジタル録音モードを設定する**」（88 ページ参照）で録音モードを **AUTO** に設定してください。

CDプレーヤー以外のソースから録音する

ラジオ、TV、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーを再生中、お好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するソースに切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(18 ページ) を参照してください。

2 ● REC を 1 秒以上押します。

- MUSIC JUKE への録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、● REC を 1 秒以上押します。

RECマーク



MUSIC JUKE の使い方



MUSIC JUKE を聞く

1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

2 **MUSIC JUKE** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 前回、MUSIC JUKE を再生していた場合は、最後に聞いていたトラック (曲) の停止したところから再生を始めます。

聞きたいトラック (曲) を選ぶ

MUSIC JUKE に保存されている複数のトラック (曲) をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

- プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
アルバム	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生 (一番上が最新)
マイセレクト	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生 (一番上が最新)
トラック	リストはありません。録音したすべての音楽を表示します。
アーティスト	自動で作成したリストを Shift-JIS 順に表示・再生
ジャンル	あらかじめ設定されている順に表示・再生
録音日	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生 (一番上が最新)
エージェント	-



MUSIC JUKE に記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。表示文字数は、半角文字では最大 28 文字、全角文字では最大 14 文字まで表示できます。

- トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
アルバム	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
マイセレクト	プレイリストに追加した順に表示・再生
トラック	録音されたトラックから順に表示・再生(一番上が最も古い)
アーティスト	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
ジャンル	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
録音日	録音されたトラックから順に表示・再生(一番上が最も古い)
エージェント	-

※：同じアーティスト/ジャンルの全トラックの再生が終了すると、次のアーティスト/ジャンルに切り替わります。

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

1 **PLAY MODE** にタッチしてプレイモードを選びます。

- プレイモードを切り替えると選んだプレイモードの一番最初に収録されているプレイリストを再生します。
- 前回、再生した場合は、最後に聞いていたプレイリストを再生します。
- **PLAY MODE** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

アルバム → マイセレクト → トラック



2 **PLAY LIST ^**、または **PLAY LIST V** にタッチしてプレイリストを選びます。

- プレイリストに収録されている先頭のトラック情報を表示／再生します。

3 **^/▶▶**、または **V/◀◀** を押してトラックを選びます。

- プレイリストに収録されているトラックを順に切り替え、再生します。



各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

MUSIC JUKE の使い方

プレイモード・プレイリスト切り替えスイッチから選ぶ

1 **PLAY LIST** にタッチします。

- プレイリスト画面が表示されます。



2 プレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- アーティストとジャンルのプレイモードを選んだ場合、アーティスト名やジャンルごとに、アルバム名のリストを表示することができます。
- **トラック** にタッチすると、MUSIC JUKE に録音されている全てのトラックを一覧で表示します。



●プレイリスト画面

3 プレイリストにタッチします。

- アーティストやジャンルのプレイリストを選んだ場合、**ALBUM** にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。

4 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストのトラックを一覧で表示します。
- **再生** にタッチすると、プレイリストに収録されている先頭の曲から再生をします。



5 トラック（曲名）にタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



●トラック一覧画面



ワンポイント

- 同じモード内にプレイリストが4個以上ある場合は、**▲**・**▼** にタッチすると、プレイリストを切り替えて表示することができます。
- 同じプレイリスト内に4曲以上収録されている場合は、**▲**・**▼** にタッチすると、トラック名（曲名）を切り替えて表示することができます。

“エージェント” から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、4つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

エージェントはあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	～'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00～	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/ イベント	TV/CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	LOVEソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1 エージェント にタッチします。

● エージェントのカテゴリ選択画面が表示されます。



2 各カテゴリにタッチします。

● 同じカテゴリ内で、複数の項目にタッチすることはできません。



MUSIC JUKE の使い方

3 再生 にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



早送り・早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り・早戻しすることができます。

1 上側：トラック（曲）を進めるとき 下側：トラック（曲）を戻すとき

- 上側：トラック（曲）を進めるとき
下側：トラック（曲）を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 機能スイッチ表示画面で、SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 機能スイッチ表示画面で、P.LIST SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されているトラックを始めての10秒間だけ順に再生します。もう一度 **P.LIST SCAN** にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、RPT にタッチします。

- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、P.LIST RPT にタッチします。

- 一度 **P.LIST RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **P.LIST RPT** にタッチすると解除されます。

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 機能スイッチ表示画面で、RAND にタッチします。

- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。

MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する

- 1** 機能スイッチ表示画面で、
ALL RAND にタッチします。
- 一度 **ALL RAND** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **ALL RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MUSIC JUKEを止める

- 1** **PWR** を押します。
- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開されます。

プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

プレイリストの作成

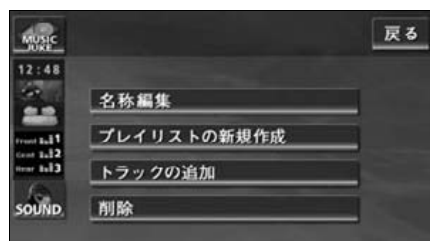
プレイモードのマイセレクトはお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「**アーティストを変更する**」（112 ページ）を参照してください。

- 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- プレイリストの新規作成** にタッチします。



- 編集メニュー画面

- プレイリスト名を入力する

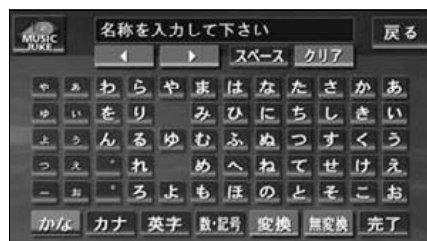
- タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- プレイリストにタッチします。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」（102 ページ）を参照してください。



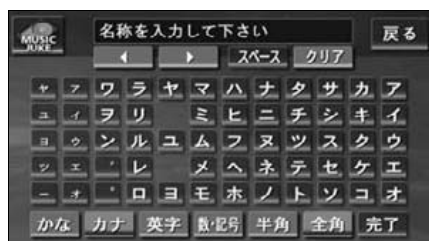
5 読み にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。

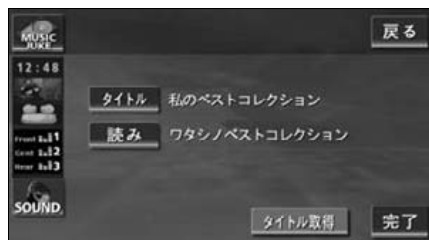


6 読みを入力します。

- 読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(次ページ)を参照してください。



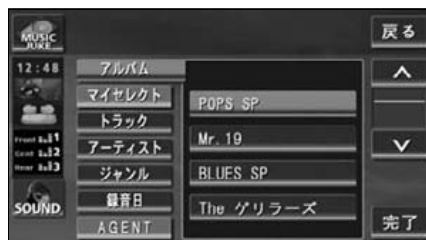
7 タイトル、読みを確認し、完了 にタッチします。



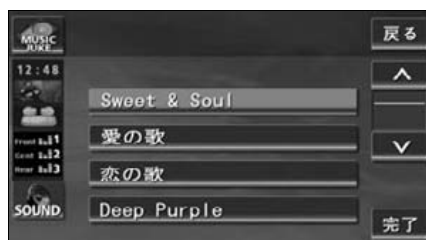
8 作成したプレイリストにトラックを追加する

8 トラックを選びます。

- トラックの検索については、「トラックの検索」(110 ページ)を参照してください。



9 完了 にタッチします。



- 作成したプレイリストには、必ずトラックを追加してください。1 曲もトラックが入っていないプレイリストは作成できません。
- 読みはカタカナ全角のみ入力することができます。
- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの編集

プレイリストの名称入力

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英字**、**数・記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「**カナ、英字、数・記号の入力**」を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは**クリア**にタッチすると、1つずつ消去されます



2 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換**にタッチします。



3 **変換**にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶**にタッチして、範囲を変更し、再度**変換**にタッチします。



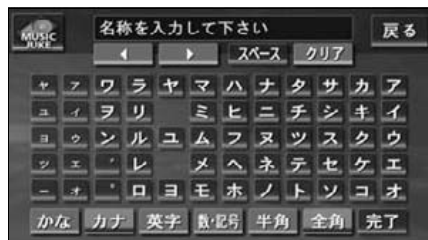
4 **完了**にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ**、**英字**、**数・記号**にタッチします。

2 **半角**（または**全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前** **▼次**が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 入力することができる文字数は最大16文字（半角文字は32文字）までです。
- 同じ名称は重複して登録することができません。

3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた(または入力されている)ときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。

4 **完了** にタッチします。



リスト名称の編集

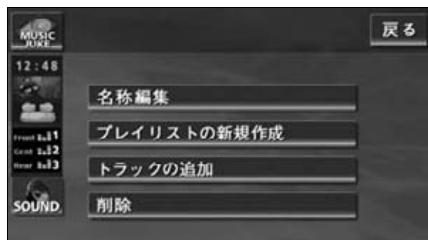
プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

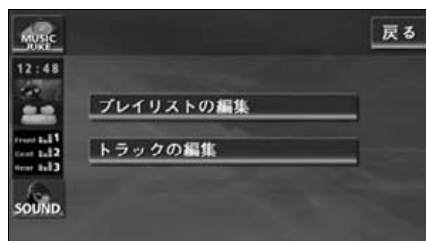
- 編集メニュー画面が表示されます。



2 **名称編集** にタッチします。

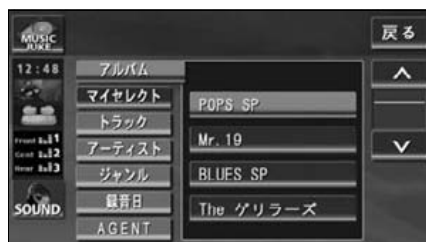


3 **プレイリストの編集** にタッチします。



4 **アルバム**、または **マイセレクト** にタッチします。

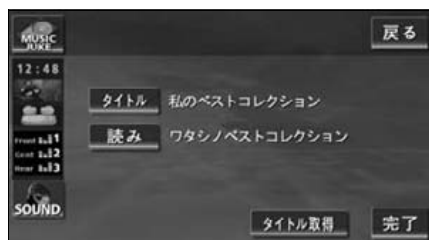
5 編集したいプレイリストにタッチします。



プレイリストの編集

6 タイトル にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



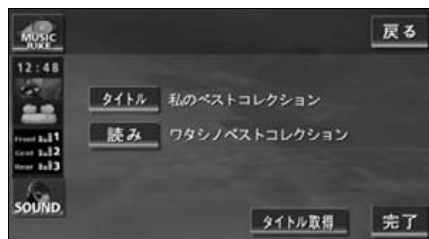
7 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(102 ページ) を参照してください。



8 読み にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。

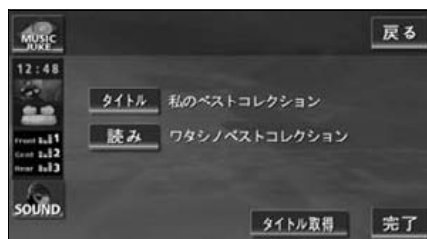


9 読みを入力します。

- 読みの入力については、「カナ、英字、数・記号の入力」(102 ページ) を参照してください。



10 タイトル、読みを確認し、完了 にタッチします。



ワンポイント

読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

タイトル情報の再取得

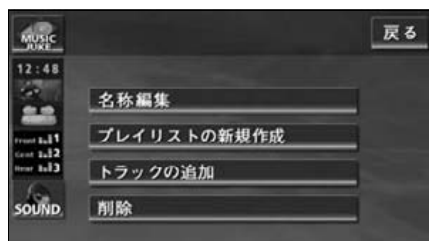
デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

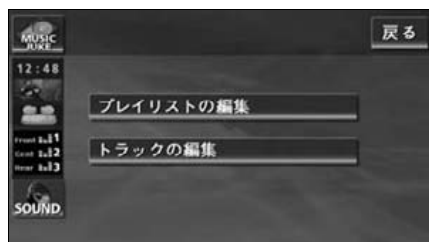
● 編集メニュー画面が表示されます。



- 名称編集** にタッチします。

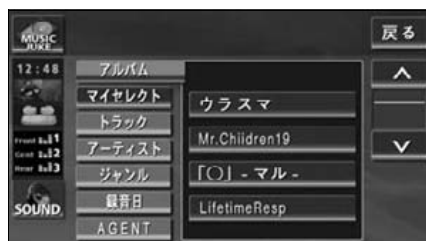


- プレイリストの編集** にタッチします。



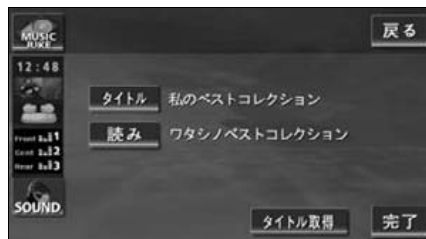
- アルバム** にタッチします。

- 編集したいプレイリストにタッチします。



- タイトル取得** にタッチします。

● 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。



プレイリストの編集

■複数のタイトル情報が存在する場合

7 該当するタイトルにタッチします。

● 最大10タイトルまで表示します。

● **戻る** にタッチすると、タイトルを取得せず、直前の画面にもどります。

● **情報** にタッチすると、タイトルに含まれているトラック(曲)タイトルを一覧で表示します。確認後、**決定** にタッチすると、タイトル情報を取得し、**6** の画面にもどります。



プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

- プレイリストは、MUSIC JUKE設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、**PLAY LIST** にタッチします。



- 2 選びたいプレイモードにタッチします。

- 3 選びたいプレイリストにタッチします。

- 4 **再生** にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストの表示も切り替わります。



作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 1 機能スイッチ表示画面で、**設定** にタッチします。

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。



- 2 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの編集

プレイリストの消去

プレイモードのアルバムまたはマイセレクトに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

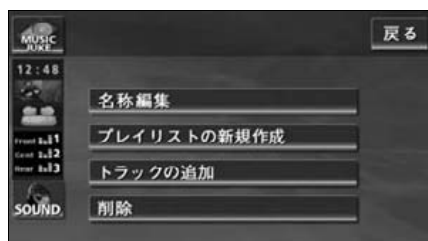
選択したプレイモード	消去されるデータ
アルバム	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
マイセレクト	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

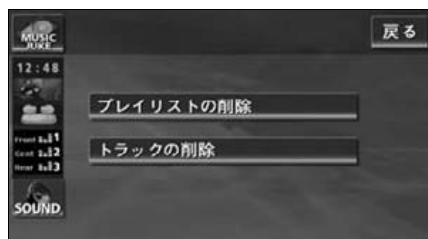
● 編集メニュー画面が表示されます。



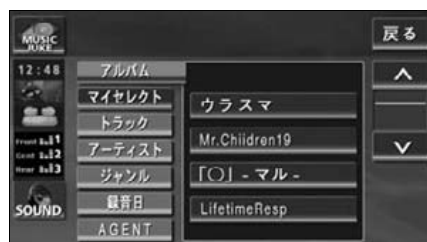
2 **削除** にタッチします。



3 **プレイリストの削除** にタッチします。



4 **アルバム**、または **マイセレクト** にタッチします。



5 プレイリストにタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。



アーティストおよびジャンル、録音日のプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラックの追加

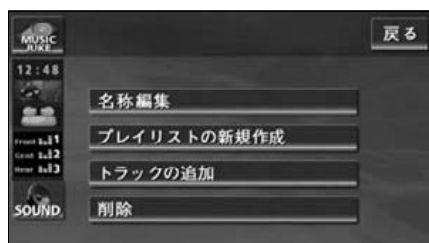
録音したトラックは、マイセレクト内のプレイリストに追加することができます。その他のプレイモードには追加できません。

- 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。

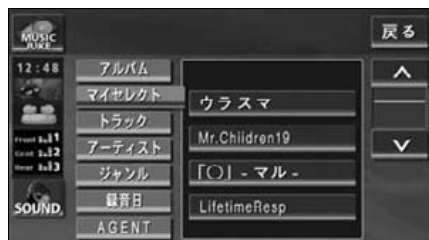


- トラックの追加** にタッチします。



- トラックを追加したいプレイリストを選択する

- プレイリストにタッチします。



- 追加するトラックを選択する

- 追加するトラックを選びます。

- トラックの検索については「**トラックの検索**」(次ページ)を参照してください。



- 完了** にタッチします。

- トラックがプレイリストに追加されます。



- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

トラックの編集

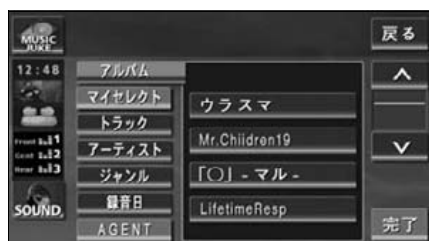
トラックの検索

複数あるトラックの中から、選択したいトラックを検索します。

編集メニュー画面からトラックを検索すると、下記の画面を表示します。

1 プレイモードにタッチします。

● **トラック** にタッチすると、トラック一覧画面が表示されます。



2 選びたいプレイリストにタッチします。

● トラック一覧画面が表示されます。

3 選びたいトラックにタッチします。



● トラック一覧画面

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

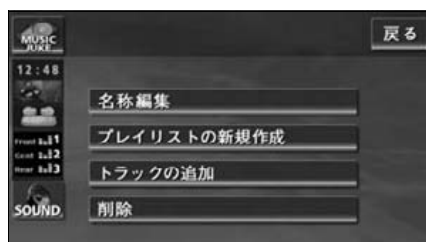
トラック編集画面の呼び出し

1 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。



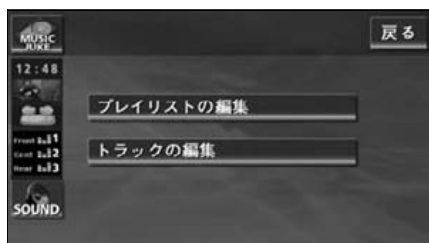
2 **名称編集** にタッチします。



● 同じプレイモード内にリストが4個以上ある場合は、**^**・**V** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

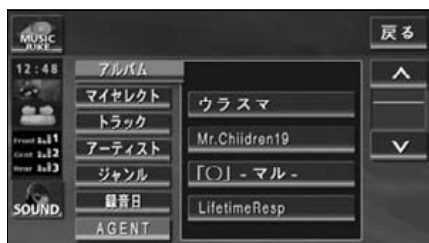
● エージェントのカテゴリを変更することはできません。

3 「トラックの編集」にタッチします。



4 編集したいトラックを選びます。

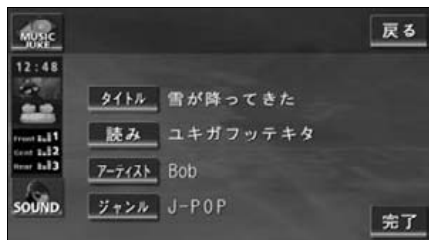
- トラックの検索については、「トラックの検索」(前ページ)を参照してください。



トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、「タイトル」にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



● トラック編集画面

2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(102 ページ)を参照してください。

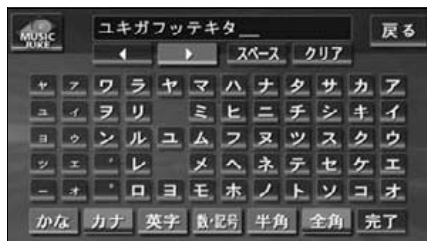


3 「読み」にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。

4 読みを入力します。

- 読みの入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(102 ページ)を参照してください。



ワンポイント

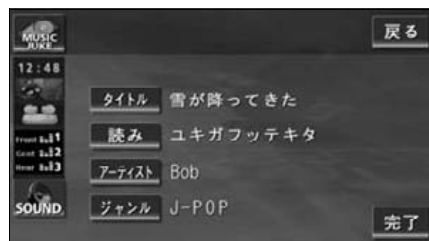
読みはカタカナ全角のみ入力することができます。

トラックの編集

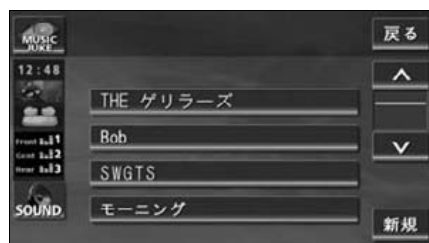
アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

- 登録アーティスト一覧画面が表示されます。



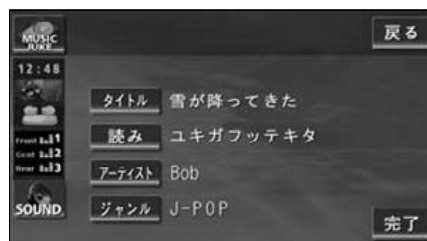
2 選びたいアーティスト名にタッチします。



- **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(102 ページ)、アーティスト名の読み入力については、「**カナ、英字、数・記号の入力**」(102 ページ)を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。

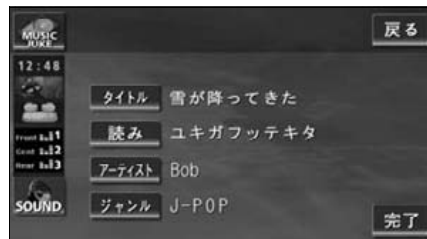


2 ジャンルにタッチします。

- **設定なし** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。



ワンポイント

▲ ・ **▼** にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

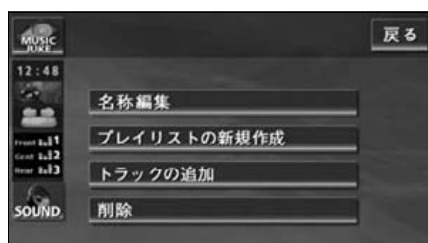
選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
マイセレクト内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去します。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
マイセレクト以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 機能スイッチ表示画面で、**編集** にタッチします。

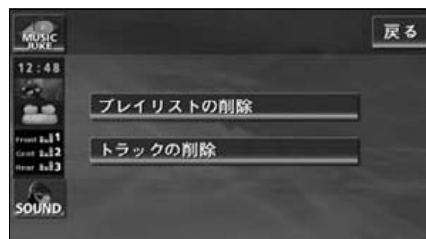
● 編集メニュー画面が表示されます。



2 **削除** にタッチします。



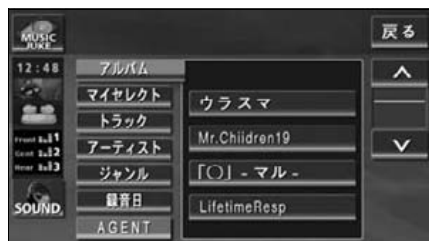
3 **トラックの削除** にタッチします。



トラックの編集

4 トラックにタッチします。

- トラックの検索については「**トラックの検索**」(110 ページ) を参照してください。



5 **削除** にタッチします。

- 消去確認画面が表示されます。

6 **YES** にタッチします。



- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にTVモードを選択した場合、音声のみになります。)



- 本機のTVは、地上アナログ放送の受信ができます。地上デジタル放送の受信はできません。

＜地上デジタル放送とは＞

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。



- 地上デジタル放送では、デジタル放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。

そのため、以下の現象が起こる可能性があります。

- 今まで見ていたチャンネルが急に見えなくなる。

- 今まで見ていたチャンネルに別の放送局の画像が映る。

また、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合にも、以下の現象が起こる可能性があります。

- チャンネルと放送局名が一致しない。

- プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。

- プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。

このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。

これらの場合は、AUTO.P スイッチ (117 ページ) や選局スイッチ (次ページ) でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

TV の使い方

TVを見る

- 1 **SOURCE MENU** を押す、または **SOURCE MENU** 呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **TV** にタッチします。

- TV 画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、TV 操作画面になります。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を押す、または **▲**、**▼** にタッチします。
- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。
▲/▶▶ **▲** (上側) :
 チャンネル UP (大きくなる)
▼/◀◀ **▼** (下側) :
 チャンネル DOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1 **▲/▶▶**、**▼/◀◀** を“ピッ”と音がするまで押す、または **▲**、**▼** に“ピッ”、“ピッ”と2度続けて音がするまでタッチします。
- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
 - 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「**チャンネルを記憶する**」下記を参照してください。

- 2 **決定** にタッチすると、放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)と AUTO.P (自動) の2つのモードがあり、それぞれのモードは独立しています。

マニュアル(手動)で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** または **エリア** (119 ページ参照) にタッチすると、AUTO.P または AREA.P からマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチをタッチして選局できるようになります。



TV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。

AUDIO CONT を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が表示され自動的に選局を始めます。“ピピツ”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

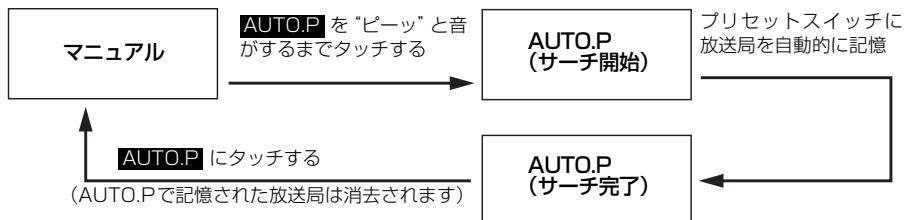
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルと AUTO.P スイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

TV の使い方

マルチチャンネルビューを表示する

プリセットされている放送局を同時に最大8画面に分割して表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、お好みの番組を選ぶことができます。

- 1** **マルチ** にタッチします。



- プリセットしている番組を順に受信して、並べて（最大8画面）表示します。
- **戻る** にタッチすると1画面にもどります。

- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- **○○○○**（放送局）にタッチすると全画面になります。



- **マルチ** にタッチしてからプリセットしている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声がかかります。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。

TV設定画面の切り替え

TVモードでは、TV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・ エリアプリセット
 - ・ 音声多重放送の切り替え
 - ・ 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルの表示・選局ができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



ワンポイント

TV 設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV 画面に切り替わりますので連続して記憶できません。

TV の使い方

局名スイッチについて

TVを受信したとき、同じチャンネルの放送局の放送地域が重複している地域で表示されます。

1 機能スイッチ表示画面で、**局名** にタッチします。

● 重複した放送局名が切り替わります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

1 機能スイッチ表示画面で、**主/副** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主・副音声
MAIN SUB MAIN・SUB



TVモードを終わる

1 **PWR** を押します。

● もう一度 **PWR** を押すと電源を切る前の受信放送局（チャンネル）が受信（音声のみ）されます。



ワンポイント

- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。
- 2ヶ国語放送を受信したときは、 が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	2層	
	12cm／両面 1層	266分 484分
	2層	

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このディスクは再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。

再生できるサラウンドシステムについて

本機は、Dolby Digital(5.1ch)、DTS(5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logicに対応していますので、映画館やコンサートホールなどのように臨場感あふれる音響空間を創り出すことができます。ディスクやパッケージに「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているディスクも再生することができます。

DVDビデオを再生する場合の音質調整については、「**サラウンドシステムの調整**」(31 ページ) を参照してください。

ディスクに表示されているマークについて

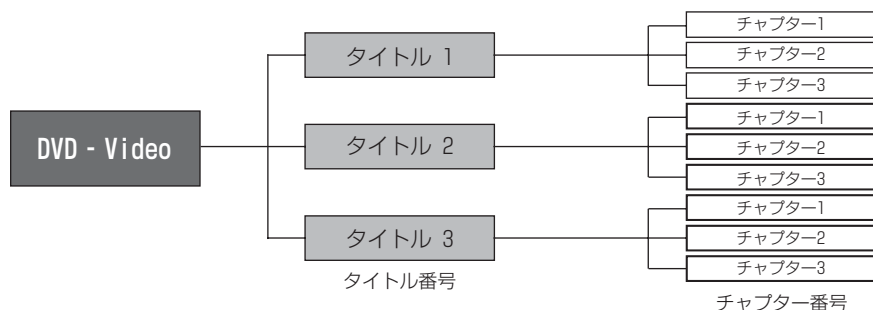
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
 	選択可能な画像アスペクト比 (TV画面の横と縦の比率) を表します。 ●「16:9」はワイド画面、「4:3」は標準画面です。
 	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号 (タイトル番号) が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号 (チャプター番号) が付けられています。



センタースピーカー、サブウーファを接続していなくても、「Dolby Digital5.1ch」、「DTS5.1ch」と表示されているDVDビデオを再生することができますが、5.1ch 音声方式では再生できません。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVD プレーヤーの初期設定などの流れを説明します。

- タッチスイッチにタッチすると、下記の操作画面に切り替わります。

●DVD操作画面



BACK

NEXT



戻る



●メニュー操作画面



戻る

数字

●メニュー番号検索画面



●タイトル画面



サーチ

戻る

DVD操作画面

戻る

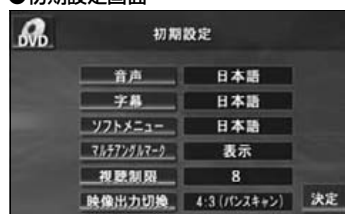
設定



決定

初期設定

●初期設定画面



DVD プレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にDVDモードを選択した場合、音声のみになります。)



DVDを見る

DVD差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 DVDが差し込まれているときに **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU 呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **DVD** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ (タッチスイッチ) を表示する場合は、**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチします。

映像を操作する

映像を再生する

- 1  にタッチします。



- DVDプレーヤーモードに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(127 ページ)

DVD プレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 、または  を“ピッ”と音がするまで押します。
-  (上側)：映像を進めるとき
 (下側)：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 、または  にタッチします。
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



映像を一時止める

- 1  にタッチします。
- 一時停止中()に  を短くタッチするとスロー再生し、 にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

- 1  にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **メニュー**、または **トップメニュー** にタッチします。

3 **✦** にタッチします。



4 **↓** **↑** **←** **→** にタッチし、再生したい映像を選びます。

5 **決定** にタッチします。



DVDを止める

1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 **△/▶▶**、または **▽/◀◀** を押します。

- **△/▶▶**（上側）：次のチャプターを選ぶとき

- **▽/◀◀**（下側）：前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVD プレーヤーの使い方

タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。

3 **決定** にタッチします。

メニュー番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 **❖** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- メニュー番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、メニュー番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、メニュー番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、メニュー番号が10ずつ切り替わります。

5 **決定** にタッチします。

タッチスイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1 **ボタン消** にタッチします。

- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1 **NEXT** にタッチします。

2 **✦** にタッチします。

3 **パネル** にタッチします。

- タッチすることによりタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



DVD プレーヤーの使い方

画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 マルチアングルが表示されているときに **アングル** にタッチします。

● アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



3 **アングル切替** にタッチします。

● アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。



アングル切替 にタッチすることにより、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切換** にタッチします。

- 字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

- 音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切換** にタッチします。

- 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



ワンポイント

- **字幕切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切換** にタッチするごとに、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。
- DTS 音声を選択した場合、スピーカーの設定状況により、音声が出力されない場合があります。(「**スピーカーの調整**」34 ページ参照)
- dtsは米国Digital Theater System,Inc.の登録商標です。

DVD プレーヤーの使い方

DVD プレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

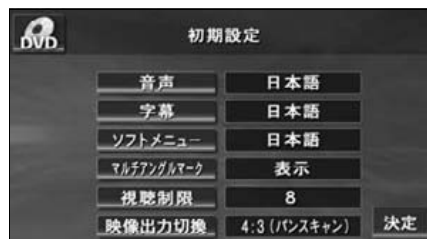


3 **初期設定** にタッチします。



● 初期設定画面が表示されます。

4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機 能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	134
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	134
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	135
映像出力切換	画面サイズを設定します。	136



初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**SOURCE MENU** 、 **AUDIO CONT**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(125 ページ参照)

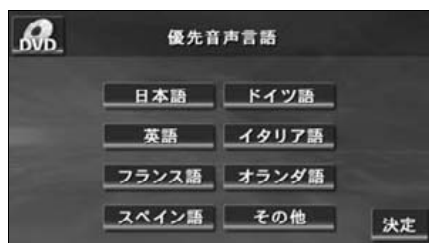
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(137 ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

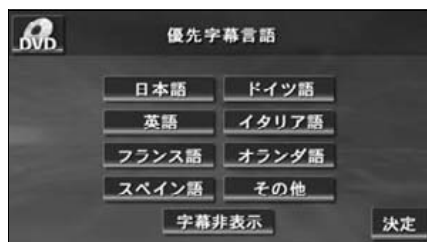
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。

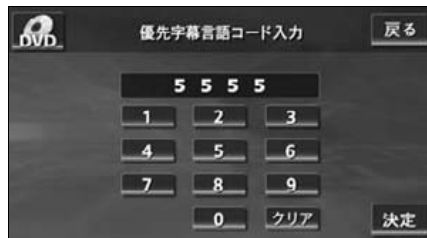


コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(137 ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。



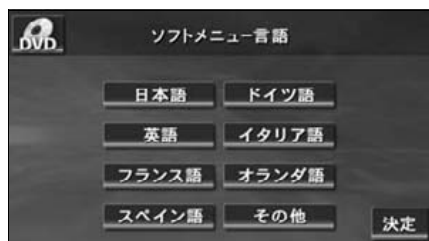
選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

DVD プレーヤーの使い方

メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

- 1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。
- 2 お好みの言語にタッチします。
- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

- 1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。
- 2 言語コードを入力します。
- 言語コードについては「言語コード一覧」(137 ページ)を参照してください。

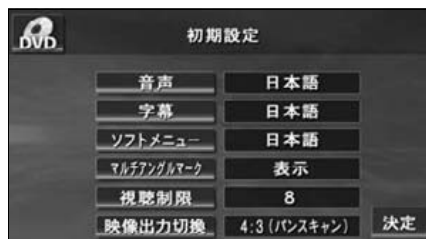


- 3 **決定** にタッチします。

マルチアングル(アングル選択マーク)の表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

- 1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。
- タッチすることにより「表示」と「非表示」が切り替わります。



- 2 **決定** にタッチします。



ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の右上にマルチアングルマークが表示されます。

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



ワンポイント

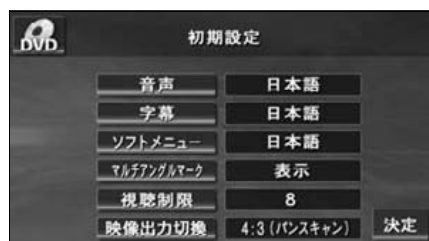
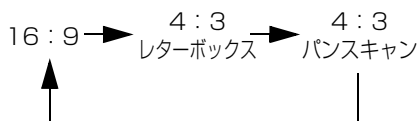
- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「———」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

DVD プレーヤーの使い方

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。

- タッチすることにより下の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

● 「16:9」

通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

● 「4:3 [レターボックス]」

上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。

● 「4:3 [パンスキャン]」

左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり (4:3) で表示されます。



ワンポイント

後席モニターなどの別のモニターを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席モニターで表示されるサイズは異なります。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アプバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カンナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストゥ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スンダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チグリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタル語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウィ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ベルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベグ語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にVTRモードを選択した場合、音声のみになります。）VTR機器を接続する場合は、別売の「ビデオ接続コード」をお買い求めください。



VTRを見る

- 1 **SOURCE MENU** を押す、または SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

- 2 **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRモードでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- DSP、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード（ワイドモード）の切り替え

- 1 **設定** にタッチします。

- **戻る** にタッチするとVTR操作画面にもどります。

VTRモードを終わる

- 1 **PWR** を押します。

- もう一度 **PWR** を押すと再生が再開（音声のみ）されます。



- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
- **AUDIO CONT** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、TVの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。また、オーディオ機能以外の目的地情報や走行情報、時計を表示することができます。



●ナビゲーション画面+走行情報画面

マルチウィンドウ画面の表示

■パネルスイッチから表示する

- 1 **マルチW** を押します。
- マルチメニュー画面が表示されます。
- 2 各項目にタッチすると次ページのマルチウィンドウ画面を表示します。



■タッチスイッチから表示する

- 1 オーディオやDVD、TV 操作画面で、**マルチW** にタッチします。
- 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



ワンポイント

- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。
- 通常のTVモード、またはDVDモードが選択されている場合、マルチメニュー画面で **オーディオ** にタッチしても、TV 画面、または DVD 画面が表示されます。オーディオ画面を表示する場合は、ソースを切り替えてください。（18 ページ参照）

マルチウィンドウ機能

表示画面	機能	ページ
	TV画面の表示 チャンネルの切り替えができます。	141
	目的地情報画面の表示 目的地周辺の衛星画像を表示することができます。	142
	オーディオ画面の表示 FM、AM、CD、“メモリースティック”、CDCH、MDCH、MP3、MUSIC JUKE、VTRの画面を表示することができます。	142
	DVD画面の表示 チャプターの切り替えができます。	141
	走行情報の表示 現在の速度、高度、速度履歴を表示します。	—
	時計の表示 現在の時刻を表示します。	—

マルチウィンドウ画面の操作

- **全画面** にタッチすると、全画面に切り替わります。
- **マルチW** が表示されているとき、**マルチW** にタッチすると、マルチウィンドウ画面に戻ります。



●走行情報を選択した場合

TV・DVD画面の操作

TVではチャンネルを、DVDではチャプターを切り替えることができます。TV操作の詳細については「TVの使い方」（115 ページ）を、DVD 操作の詳細については「DVD/VTRの使い方」（125、138 ページ）を参照してください。



1 ▲、▼ にタッチします。

- TV画面では、プリセットスイッチに記憶されている放送局を順に切り替えます。
- DVD画面では、ディスクに記録されているチャプターを順に切り替えます。



ワンポイント

- マルチウィンドウ機能を解除するときは **NAVI** を押してください。
- TV・DVD画面は、**全画面** にタッチすると通常のTVモード、DVDモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは **マルチW** を押し、**TV**・**DVD** にタッチする、または画面にタッチ後、**マルチW** にタッチしてください。

マルチウィンドウ機能

目的地情報画面の操作

目的地が設定されていて、目的地周辺の衛星画像が収録されている地域では、上空からの衛星画像を表示することができます。

- 衛星画像が収録されている地域や縮尺などについては「取扱説明書ナビゲーション編」-「衛星画像 (IKONOS) の表示」を参照してください。



- 1 **詳細**、または **広域** にタッチすると、衛星画像画面の縮尺を切り替えることができます。

- **解除** にタッチすると、通常の地図画面を表示します。



オーディオ画面の操作

AM、FMでは放送局の切り替え、CD、"メモリースティック"、MUSIC JUKE、MP3、CDCHモードでは曲やリストを切り替えることができます。

各オーディオ操作やVTR操作の詳細については、各操作ページを参照してください。

ソースを切り替える

マルチウィンドウ画面を表示しながら、簡単にソースを切り替えることができます。

- 1 SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチし、各ソースにタッチしてください。ソースが切り替わり、マルチウィンドウ画面に戻ります。



ワンポイント

- 地図向きを切り替えることはできません。
- マルチウィンドウ機能を解除するときは **NAVI** を押してください。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD 検索中です	CDチェンジャーにマガジンセットしたとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
CDをお確かめください ○○枚目のCDをお確かめ下さい	CDが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
CDが入っていません	CDプレーヤーまたはCDチェンジャーにディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
MP3が入っていません	CDプレーヤーにMP3ディスクが入っていないため。	MP3ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でCDプレーヤーまたはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
走行中は音声を お楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてサイドブレーキをかけてからお楽しみください。
このMEMORY STICKには 対応していません	対応していないMEMORY STICKを挿入したため。	本機で利用できるMEMORY STICKを確認してください。(16 ページ参照)
MEMORY STICKが入っていません	MG MEMORY STICKが入っていないため。	MG MEMORY STICKを入れてください。
再生可能なファイルがありません	MG MEMORY STICK内に、再生可能な音楽データが記録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているMG MEMORY STICKを入れてください。
MEMORY STICK 認証中	MEMORY STICKの認証を処理しているため。	MEMORY STICKの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
MEMORY STICKをお確かめ下さい	静電気により、MEMORY STICKが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
このMEMORY STICKからHDDへ保存できません	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で可以使用のMEMORY STICKを確認してください。(16 ページ参照)
再生可能なファイルがありません	再生可能な音楽データが入っていないMEMORY STICKを挿入したため。	MUSIC Jukeに録音されている音楽データを確認してください。
録音中はMEMORY STICKモードへ移行できません	録音中にMEMORY STICKモードに切り替えようとしたため。	録音を中止してからMEMORY STICKモードに切り替えてください。(91、92、93ページ参照)
期間・回数に制限があるため、再生できません	再生制限付きのデータを制限を越えて再生しようとしたため。	再度、データを入手してから再生してください。
音楽データがありません	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、MUSIC JUKEモードに切り替えようとしたため。	MUSIC JUKEに録音してからMUSIC JUKEモードに切り替えてください。(90ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(108、113ページ参照)
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(108、113ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を中止します	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 REC を押して録音を続けてください。
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	デジタル録音開始後、1曲も録音完了せずに終了したため。	再度、録音する場合は、 REC を押して（1秒以上）ください。
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
録音が1曲も終わっていませんので、しばらくお待ちください	録音開始後、1曲も録音が完了していないときに、CDモードへ戻った場合、先頭から再び録音をやり直してしまうため。	録音開始後、1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITLEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したタイトルがないため。	タイトルインジケータが表示されるまでお待ちください。再度メッセージが表示される場合は、 タイトル更新 にタッチしてください。
更新するデータベースはありません	受信したタイトルが1つも存在しないため。	FM多重チューナー設定が「CDタイトル」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新操作を行ってください。

メッセージ	原因	処置
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	●REC を押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(108ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(113ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(100、108ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(113ページ参照)
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(91、92、93ページ参照)
異常検知でMusic JUKE停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンをOFF (ACCをOFF) にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
Music JUKE準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	MUSIC JUKEモードに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンをOFF (ACC OFF) にし、再度車のエンジンをON (ACC ON) にしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
データ消去中 【注】 消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオ OFF します	MEMORY STICKモード、またはMUSIC JUKEモードのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオモードを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認下さい	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。 (39ページ参照)
画像を表示できません 容量がオーバーしています	画像の容量が大きすぎるため。	500kB以下の画像ファイルとしてください。(39ページ参照)
画像を表示できません 画像サイズがオーバーしています	画像サイズが大きすぎるため。	横832×縦496dot以下の画像ファイルとしてください。(39ページ参照)
画像を表示できません データをご確認下さい	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。 (39ページ参照)
カスタム画像がありません カスタムの変更から画像の登録ができます	カスタム画像とする画像データが登録されていないため。	カスタムに画像を登録してください。(38ページ参照)
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(39ページ参照)
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
ディスクをお確かめ下さい	DVD が汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは、正しく入れてください。

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
ディスクが入っていません	DVD ディスクが入っていないため。	DVD ディスクを入れてください。
異常検知でDVD 停止中です ※ 1	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※ 2	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。(13、122 ページ参照)
受け付けられないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。

※ 1 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※ 2 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありません。しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありません。しばらくすると安定します。
音が出ない	音量の調整不良。	音量スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードがはずれている。	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量の調整不良。	左右音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	調整した音質が放送、ディスクに含まれていない。	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに1枚入っていて2枚目を入れようとしている。	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
CD・DVDの再生ができない	結露している。	しばらく放置してから使用してください。(13ページ参照)
	CD・DVDに大きなキズやソリがある。	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。(14ページ参照)
	CD・DVDが裏返しになっている。	CD・DVDを正しい向きで挿入してください。
	対応していないCD・DVDが挿入されている。	対応しているCD・DVDを挿入してください。(13ページ参照)
	自動再生されないDVD ディスクが挿入されている。	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。(127ページ参照)
MEMORY STICKの再生ができない	対応していないMEMORY STICKが挿入されている。	対応しているMEMORY STICKを挿入してください。(16ページ参照)
MD CHANGER にタッチしても、MDチェンジャーにならない	MDチェンジャーの接続が不完全。	MDチェンジャーとの接続を確認してください。
画面に CD CHANGER1 、 CD CHANGER2 が表示されない	CDチェンジャーの接続が不完全。	CDチェンジャーとの接続を確認してください。
CDを再生しても、自動で録音されない	デジタル録音モードが“SELECT”に設定されている。	デジタル録音モードを“AUTO”に設定してください。(88ページ参照)
	MP3を再生している。	MP3は録音できません。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンで画面を消したとき。	SOURCE MENU を押してください。(18ページ参照)
音声は出るが、TV映像が出ない(停車中)	パーキングブレーキを引いていない。	パーキングブレーキを引いてください。
DVD再生中センタースピーカーから音が出ない	センタースピーカーのセッティングが“NONE”になっていませんか。	スピーカーサイズ切替で“LARGE”もしくは“SMALL”にしてください。(34ページ参照)
DVD再生中リアスピーカーから音が出ない(5.1chで鳴らない)	DVDの音声ドルビーサラウンドまたは(ステレオ)になっていませんか。	音声切替を行ってください。音声属性はパッケージでご確認ください。(132ページ参照)
映像も音も出ない	車の電源スイッチが入っていない。	車のキーを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードの接続が不完全。	各接続コードの接続を確認してください。

症 状	考えられること	処置
TVの映像または音が出ない	VTR入力になっている。	TV にタッチして、放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込む画像のファイル形式は適切ですか。	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(39ページ参照)
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか。 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。 遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。

用語説明

スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

●シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

●デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

●ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※合わさった2層のディスク

※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

MP3

MP3はMPEG Audio LayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3 タグ	MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3 タグに対応したプレイヤーで ID3 タグ情報の表示・編集が可能です。
エンコーダ	WAVE ファイルから MP3 ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
ATRAC3 (アトラックスリー)	「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができるので、1 枚の CD に複数の音楽を録音することができます。
“メモリースティック”	小型、軽量の IC 記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。
“MG メモリースティック (マジックゲートメモリースティック)”	著作権保護技術“Magic Gate（マジックゲート）”を搭載した“メモリースティック”の名称で、音楽など、著作権保護技術が必要なデータの記録・再生を行うための IC 記録メディアです。対応機器とメディアの間で、お互いが、著作権保護に対応しているかどうかの判断を行い、対応していると認証された機器のみで再生することができます。
SCMS (シリアルコピー マネジメントシステム)	デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これが SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）です。

用語説明

Dolby Digital (5.1ch)	フロントL/R、センター、リヤサラウンドL/Rの、サブウーファ 6つのスピーカーを使用する5.1chの標準的なフォーマット [Dolby Digital] に対応しています。6chそれぞれを完全に独立（ディスクリット方式）させたデジタル圧縮信号をデコーダで伸長。自然で立体的な音場と明瞭な移動感、定位感で、ビデオソフトを十分に楽しむことができます。
DTS (5.1ch)	デジタルシアターシステム社が開発した最新の劇場用サラウンド方式 [DTS] にも対応しています。ドルビーデジタル5.1chと同様、6chそれぞれに別々の音声収録されていますが、圧縮率がドルビーデジタルの約1／10に比べ約1／4と低いため、さらにダイナミックレンジの広い緻密なサウンドを得ることが可能です。
Dolby Pro Logic	ステレオ 2chの中にセンター、リヤサラウンド（モノラル）の信号を合成して記録したもので、従来からビデオソフトなどに採用されている一般的なサラウンド方式です。再生時にデコーディングを行い、これらの信号を抽出。2chで録音されている名画旧作品や音楽CDも豊かな臨場感で楽しむことができます。
gracenote CDDB	CDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenote ロゴ及びロゴタイプ、Gracenote CDDBロゴ及びロゴタイプ、ならびに"Powered by Gracenote CDDB"ロゴは、Gracenoteの商標です。音楽認識サービスとMRSはGracenoteのサービスマークです。音楽認識技術及び関連データは、Gracenote 及び the Gracenote CDDB Music Service により提供されています。Gracenoteは音楽認識技術及び関連コンテンツ配信分野での業界標準です。 より詳しい情報は、 www.gracenote.com をご覧ください。

コピーコントロールCD レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が追加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」と言います。

gracenote CDDBのご利用について

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

この製品は米国カリフォルニア州、バークレー市の Gracenote ("Gracenote") からの技術とデータが含まれています。この製品は Gracenote の技術 ("Gracenote Embedded Software") により、ディスク識別を可能とし、また名前、アーティスト、トラック、タイトルなどを含む音楽に関する情報 ("Gracenote Data") を得ることも可能です。この技術は Gracenote Database ("Gracenote Database") に実装されています。

- Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Softwareを商用ではなく、個人の使用のみに使うことに同意すること。
- 標準エンドユーザー機能及びこの製品の機能によってのみ、Gracenote Dataにアクセスすることに同意すること。
- 第三者に、Gracenote Embedded SoftwareまたはGracenote Dataの譲渡、コピー、転送をしないことに同意すること。
- この文章中で明白に許可されたこと以外でのGracenote Data、Gracenote DatabaseやGracenote Embedded Softwareの使用あるいは応用をしないことに同意すること。
- これらの制約に違反した場合、あなたの Gracenote Data、Gracenote Database、Gracenote Embedded Software を使用する非独占的ライセンスの契約を解除します。解除された場合、Gracenote Data、Gracenote Databaseの全ての使用をやめることに同意すること。
- Gracenote は Gracenote Data、Gracenote Database や Gracenote Embedded Softwareの所有権を含むすべての権利を保有しています。
- Gracenoteはこの同意のもとで、Gracenoteの名において、直接あなたに対する権利を執行することができます。

Gracenote Embedded SoftwareやGracenote Dataの各項目はあなたに現状のままで使用許可を与えます。Gracenote は、すべての Gracenote Data の正確性に関する、明示或いは黙示、真実の表明或いは保証は、一切致しません。Gracenoteは Gracenote が明らかに問題であると判断した際、または更新が必要な際には、データカテゴリーを変更したり、データを消去することができます。

Gracenote Embedded Softwareが、エラーフリーであるとか、Gracenote Embedded Softwareの機能が断絶しないものであるという保証は致しません。

Gracenote は新しく拡張された或いは追加されるいかなるデータタイプも提供する義務はありません。或いはまた、将来 Gracenote が提供するかもしれないカテゴリーについても、あなたに提供する義務はありません。

Gracenoteは、商品性に関する黙示の保証、特定目的への適合性及び権利侵害の不存在を含む全ての明示または黙示の保証をしません。Gracenoteは、Gracenote ComponentまたはいかなるGracenote Serverの利用により生じた結果について保証しません。

Gracenote はいかなる場合でも結果的もしくは付随的損害または逸失利益もしくは逸失収入に対して責任を負いません。

目的別索引

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオ操作画面やTV・DVDの画面を見やすくしたい

「画質調整画面の表示」..... P43

■操作画面、または設定画面の表示を、自動で切り替えたい

「優先画面の設定」..... P46

■画面を消したい

「画面を消すときは」..... P44

■操作画面などのタッチスイッチを消したい

「タッチスイッチの表示切り替え」..... P47

■壁紙に使用できるデータについて知りたい

「使用できる画像データについて」..... P39

■壁紙を切り替えたい

「Pic-CLIPを切り替える」..... P37

■パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい

「画像データを書き換える」..... P38

■パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい

「画像データを保存する」..... P40

■HDDから画像データを削除したい

「画像データを消去する」..... P42

■画面をワイドモードにしたい

「画面モード切り替え」..... P48

<音の調整に関して>

■音量をかえたい

「主音量の調整」..... P20

目的別索引

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

「操作音の設定」..... P20

■音質をかえたい

- 演奏会場を擬似的に創り出したい

「DSP（音場）の設定」..... P24

- イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」..... P25

- 乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい

「POS（ポジショニングセクター）の調整」..... P27

- 前後左右の音量のバランスを調整したい

「音量バランスの調整」..... P28

- 小・高音量時にメリハリのある音にしたい

「LOUDNESSの設定」..... P29

- MP3/WMAの音質を調整したい

「MP3/WMA音質補正の設定（ハーモナイザー）」..... P29

- サブウーファの設定を変更したい

「サブウーファの設定」..... P30

- DVDビデオをもっと迫力のあるサウンドで聞きたい

「サラウンドシステムの調整」..... P31

- 音の到達時間差やスピーカーの出力レベルを調整したい

「スピーカーの調整」..... P34

オーディオ関係

ラジオの使い方について

■ラジオを聞きたい

「ラジオを聞く」..... P49

■放送局を探したい

「聞きたい放送局を選ぶ」..... P49

■放送局を記憶させたい

「放送局を記憶する」..... P50

■今、いるエリアの放送局が知りたい

「エリアスイッチについて」..... P51

CD・CDチェンジャーの使い方について

■CDを聞きたい

「CDを聞く」.....P55,P68

■聞きたい曲やCDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」.....P56,P68

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」.....P56

「チェンジャー内の全CD から聞きたい曲やCD を探す」.....P69

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聴く」.....P56

「聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聴く」.....P69

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聴く」.....P56,P69

MDチェンジャーの使い方について

■MDを聞きたい

「MDを聞く」.....P70

■聞きたい曲やMDを選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」.....P70

「聞きたいMDを選ぶ」.....P70

■聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

「聞きたい曲を探す」.....P71

「聞きたいMDを探す」.....P71

■いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」.....P71

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」.....P71

■いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聴く」.....P71

■MDに記録した情報を表示したい

「MDのタイトルや 曲名などを表示する」.....P71

目的別索引

MP3/WMA プレーヤーの使い方について

■MP3/WMA を聞きたい

「MP3/WMA を聞く」..... P57

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

「聞きたいフォルダを選ぶ」..... P58

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P58

■階層を戻りたい

「1つ上の階層を表示する」..... P58

■今の階層がわからない

「現在の階層を表示する」..... P59

■聞きたい音楽ファイルを探したい

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P59

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P59

■普段と違う順番で聞きたい

「順番をランダムに聞く」..... P59

■ディスクに記録した情報を表示したい

「音楽ファイル情報などを表示する」..... P59

■MP3/WMA について知りたい

「MP3/WMA について」..... P60

■MP3/WMA ファイルの作り方を知りたい

「MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方」..... P65

“メモリースティック” プレーヤーの使い方について

■ “メモリースティック” を聞きたい

「メモリースティック」を聞く..... P66

■ 聞きたい曲を選びたい

「聞きたい曲を選ぶ」..... P66

■ 聞きたい曲を探したい

「聞きたい曲を探す」..... P67

■ いま聞いている曲を繰り返し再生したい

「同じ曲を繰り返し聞く」..... P67

■ いつもと違う順番で聞きたい

「曲の順番をランダムに聞く」..... P67

MUSIC JUKEについて

MUSIC JUKEの使い方について

■ MUSIC JUKEを聞きたい

「MUSIC JUKEを聞く」..... P94

■ MUSIC JUKEについて知りたい

「MUSIC JUKEの概要」..... P72

「MUSIC JUKEの構成について」..... P72

■ 録音について知りたい

「MUSIC JUKEへの録音について」..... P86

「録音についての注意」..... P86

● 録音できるオーディオモードについて知りたい

「録音できるソースと録音方式について」..... P86

● 録音の設定を切り替えたい

「録音方式の設定」..... P88

■ データベースについて知りたい

「データベースについて」..... P74

■ オートタイトリング機能について知りたい

「オートタイトリング機能について」..... P76

目的別索引

■タイトルデータベースを更新したい

「データベースの更新について」..... P78

■ハードディスクの容量を表示したい

「ハードディスクの容量確認」..... P84

■MUSIC JUKEに録音したい

- CDアルバムを自動で録音したい
「CDを再生しながら自動で録音する」..... P91
- CDを再生しながら好きなときに録音したい
「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」..... P92
- 他のオーディオモードから録音する
「CDプレーヤー以外のソースから録音する」..... P93

■プレイリストを編集したい

- 新しいプレイリストを作成したい
「プレイリストの作成」..... P100
- 新しくアーティストをリストに追加したい
「アーティストを変更する」..... P112
- 作成したプレイリストを編集したい
「リスト名称の編集」..... P103
- プレイリストを削除したい
「プレイリストの消去」..... P108
- プレイリスト・トラックを並び替えたい
「プレイリストの並び替え」..... P107

■トラック（曲）を編集したい

- 作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい
「トラックの追加」..... P109
- 録音したトラック（曲）を編集したい
「トラック情報の編集」..... P110
- トラック（曲）を削除したい
「トラックの消去」..... P113
- 情報を更新したい
「タイトル情報の再取得」..... P105

■聞きたいトラック（曲）を選びたい

- 「選曲・頭出しスイッチから選ぶ」..... P95
- 「プレイモード・プレイリスト切り替えスイッチから選ぶ」..... P96

■聞きたいトラック（曲）を探したい

- 「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」..... P98
- 「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」..... P98

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

- 「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P98
- 「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」..... P98

■いつもと違う順番で聞きたい

- 「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」..... P98
- 「MUSIC JUKEに保存されている全曲の中からランダムに再生する」..... P99

TVについて

TVの使い方について

■TVを見たい

- 「TVを見る」..... P116

■放送局を探したい

- 「見たいチャンネルを選ぶ」..... P116

■放送局を記憶させたい

- 「チャンネルを記憶する」..... P116

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

- 「TV設定画面の切り替え」..... P119

■今、いるエリアの放送局を知りたい

- 「エリアスイッチについて」..... P119

■今、聞いている音声を切り替えたい

- 「音声多重放送を切り替える」..... P120

■同時に複数の番組を表示したい

- 「マルチチャンネルビューを表示する」..... P118

目的別索引

DVDビデオ/VTRに関して

DVDプレーヤーの使い方について

■DVDビデオを見たい

「DVDを見る」..... P125

■ディスクについて知りたい

- ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい
「ディスクに表示されているマークについて」..... P123
- 再生できるディスクを知りたい
「再生できるディスクの種類について」..... P122
- ディスクの構成を知りたい
「ディスクの構成について」..... P123

■ディスクに記憶されているメニューを操作したい

「ディスクメニューを操作する」..... P127

■再生している映像を操作したい

「映像を操作する」..... P125

■映像を選びたい・探したい

- 「チャプターから探す」..... P127
- 「タイトル番号から探す」..... P128
- 「メニュー番号から探す」..... P128

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

「タッチスイッチの表示を切り替える」..... P129

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

- 「アングルを切り替える」..... P130
- 「字幕言語を切り替える」..... P131
- 「音声言語を切り替える」..... P131

■プレーヤーの設定について知りたい

「音声言語を設定する」.....	P133
「字幕言語を設定する」.....	P133
「メニュー言語を設定する」.....	P134
「マルチアングル(アングル選択マーク)の表示を設定する」.....	P134
「視聴制限を設定する」.....	P135
「映像出力を切り替える」.....	P136

■VTRを使いたい

「VTRの使い方」.....	P138
----------------	------

その他

便利な機能

■ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示したい

「マルチウィンドウについて」.....	P139
---------------------	------

わからなくてお困りのとき

■画面のメッセージがわからない

「こんなメッセージが表示されたときは」.....	P143
--------------------------	------

■故障かどうかわからない

「故障とお考えになる前に」.....	P147
--------------------	------

索引

五十音順

ア

エリアスイッチ	51, 119
オートタイトリング機能	76
音質補正の設定 （ハーモナイザー）	29
音質の調整	21
音声操作	151
音声多重放送	120
音量バランス	28

カ

画質調整	45
画像データを書き換える	38, 42
画像データを保存する	40
画面の調整	43
画面モード切り替え	48

サ

サブウーファの設定	30
主音量の調整	20
スピーカーの調整	34
操作音の設定	20

タ

データベースについて	74
データベース情報の表示	77
データベースの更新	78
トラックの編集	109

ハ

ハードディスク容量の確認	84
背景画（壁紙）	37
昼画表示	44
ファイル情報の表示	59
プレイモード	73
プレイリストの編集	100

マ

マルチアングルマーク	134
マルチウィンドウ	139
マルチチャンネルビュー	118
名称入力	102
“メモリースティック” プレーヤーの 使い方	66

ヤ

夜画表示	44
------------	----

ラ

ラジオの使い方	49
録音方式の設定	88

アルファベット

A

AREA.P 51, 119

C

CD プレーヤーの使い方 55
 CD チェンジャーの使い方 68
 Center Blend を調整する 33
 Center Level を調整する 33
 COMPRESSION を調整する 32

D

DISC RAND 69
 DISC RPT 69
 DISC SCAN 69
 Dolby Pro Logic を設定する 31
 DSP（音場）の設定 24
 DVD ビデオの特長 121
 DVD プレーヤーの使い方 125

E

EQ（イコライザ）の調整 25

H

HOME 59

M

MP3/WMA について 60
 MP3/WMA プレーヤーの使い方 57
 MUSIC JUKE の使い方 94
 MUSIC JUKE への録音 86

P

Pic-CLIP 37
 POS 27

R

RAND 56, 59, 67, 69, 98
 Rear Level を調整する 33
 RPT 56, 59, 67, 69, 98

S

SCAN 56, 59, 67, 69, 98

T

TV 設定画面 119
 TV を見る 116

V

VTR の使い方 138

MEMO

MEMO

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2004

090002-2690A700
0409C (N)